

GACHA レジ GR-1

取扱説明書



最新のマニュアル、サポート情報は
こちらをご覧ください

<https://products.tb-group.co.jp/sa/gacharegi/support/>



TBグループ

<https://www.tb-group.co.jp>

Z1AE-1429X-07
2607

知りたいことは？

本レジにて操作したい内容は、記載ページより参照できます。

箱から本レジ (GACHA レジ) を取り出したら

- [本レジ \(GACHA レジ\) ご使用前に行ってください。](#) 9 ページ

いろいろな設定や確認の方法

- [日付や時刻を設定したい](#) 69 ページ
- [部門に名称を設定したい](#) 72 ページ
- [部門の税属性 \(課税方式\) を変更したい](#) 74 ページ
- [税率を変更したい](#) 88 ページ
- [自動的に税率を変更したい](#) 89 ページ
- [値引き、引き \(割増し\) を設定したい](#) 86 ページ
- [本レジの設定内容を確認したい](#) 100 ページ
- [売り上げの内容・金額を確認したい](#) 60 ページ

基本的な売り上げ方など

- [基本的な売り上げをしたい](#) 22 ページ
- [間違えた売り上げを訂正したい](#) 30 ページ
- [値引き、引き \(割増し\) をしたい](#) 39 ページ
- [ドアを開けたい](#) 54 ページ

レシートやプリンタに関すること

- [ロール紙のセットや交換をしたい](#) 127 ページ
- [レシート発行を止めたい](#) 54 ページ
- [領収書を発行したい](#) 28 ページ
- [店名ロゴやスタンプの設定を行いたい](#) 111 ページ
- [レシートにメッセージや電話番号を印字したい](#) 81 ページ

設定の保存や本レジの初期化

- [SDカードに設定内容を保存したい](#) 114 ページ
- [本レジをリセットしたい \(初期化状態に戻す\)](#) 121 ページ

目次

はじめに（製品概要）	1
お願い（本書に対するお願い）	1
安全に正しくお使いいただくために	1
据え付けについて	1
安全上のご注意	2
ご使用になる前に	8
用意するもの	8
決済端末を接続してお使いになる場合	8
本レジご使用の準備	9
箱から取り出す	9
付属品の確認	9
設置	10
レシート印字で設定すること	12
課税方式について	13
初期設定について	14
各部の名称と機能	15
各部名称	15
表示、客表示	17
スライドスイッチ	18
キーレイアウト	18
キーの名前とはたらき	19
ドロア	21
鍵の施錠（ロックする）	21
鍵の解錠	21
ドロアを開ける	21
非常オープン方法	21
基本的な操作のしかた	22
レシート・領収書の見方	22
レシートの印字例	22
領収書の印字例	23
登録のしかた	24
1 品の商品をお買い上げのとき	24
同じ商品を複数お買い上げのとき	25
2 品以上の商品をお買い上げのとき	26
複数の商品を複数個お買い上げのとき	27
領収書の発行のしかた	28
発行したレシートの領収書を発行するとき	28
金額を指定して領収書を発行するとき	29
操作を間違えたとき（訂正のしかた）	30
金額や個数の押し間違い（部門キー、取引キーを操 作する前）	30

金額や個数の押し間違い（部門キー操作した直後）	31
[小計]キーを押した後、一部の商品进行訂正する	33
登録操作中すべての商品进行やり直す（取り消す）	35
登録が完了した後の訂正（レシート訂正）	36
閉店後の操作（1 日の売り上げレポートを発行する）	38
	38
便利な使いかた	39
値引のしかた	39
割引き/割増しのしかた	41
商品券や金券でお支払い	43
クレジット、電子マネー、コード決済でお支払い	44
決済端末を連動していない場合	44
決済端末を連動してお支払い	45
一時的に決済端末の連動を止める場合	48
決済端末を連動したお支払いを訂正	49
売上に関係ない現金をドロアに入れる（入金）	52
売上に関係ない現金をドロアから出す（出金）	52
レシートに任意の数字を印字する	53
ドロアの開けかた、両替のしかた	54
レシートの発行/停止のしかた	54
レシートを再発行する（後出レシート）	55
登録操作の練習（トレーニング）	56
特定のトレーニングパスワードで開始/終了する	57
任意のトレーニングパスワードで開始/終了する	58
現在の日付や時刻を表示する	59
各種レポートの発行のしかた	60
日計レポートの発行	61
期間累計レポートの発行	62
トレーニングレポートの発行	63
電子ジャーナルレポートの発行/消去のしかた	64
設定のしかた	67
設定操作/表示の一覧	67
日付の設定	69
時刻の設定	70
一連番号の設定	70
部門の設定	71
部門キーへの単価設定	71
部門キーへの名称設定	72
部門キーへの税属性（課税方式）設定	74
部門キーへの税率の選択	75
精算レポートカウンタの設定	76
累計カウンタの設定	76
機械番号の設定	77

総合計設定	77	SD カードのフォーマットのしかた	108
訂正モードパスワードの設定	78	SD カード操作/表示一覧	109
訂正モードのパスワード入力のしかた	78	各設定内容を本レジへ読み込む	110
精算レポートパスワードの設定	79	全設定の読み込み	110
精算モードのパスワード入力のしかた	79	部門設定の読み込み	111
トレーニングモードパスワードの設定	80	店名ロゴの読み込み	112
レシートのヘッダー/フッターメッセージの設定 ..	81	店名スタンプの読み込み	113
電話番号の設定	81	各設定内容を SD カードへ保存する	114
ヘッダー部に印字するメッセージの選択	82	全設定の保存	114
フッター部に印字するメッセージの選択	85	部門設定の保存	115
割引き/割増し・値引きの設定	86	店名ロゴの保存	116
割引き/割増し率の設定	86	店名スタンプの保存	117
値引き額の設定	87	店名ロゴ、店名スタンプについて	118
税関係の設定	88	カナ／ABC入力方法について	119
税率(消費税率)の設定	88	本レジをリセットする	121
税率自動変更の設定	89	ハーフクリア	121
領収書の設定	91	レポートクリア	121
領収書開始番号の設定	91	システムクリア	122
領収書収入印紙欄金額の設定	92	こんなときは	123
領収書印字向きの設定	92	「故障かな？」と思ったら	123
インボイス制度(適格請求書等保存方式)の設定 ..	93	表示部にエラーが表示したときは	124
課税事業者の場合	93	ドリア非常時のオープン方法	126
免税事業者の場合	95	備品・消耗品のセット/交換のしかた	127
システムフラグの設定	96	ロール紙のセット/交換のしかた	127
各設定内容の確認	100	ロール紙をセットする	127
確認操作/表示の一覧	100	ロール紙を交換する	128
部門等設定の確認	101	乾電池のセット/交換のしかた	129
その他設定の確認	102	SD メモリカードのセットのしかた	131
決済端末について	103	製品保証について	132
決済端末(steria terminal standard)でご準備いただくもの	103	製品保証書	132
決済端末(steria terminal standard)側の設定	104	保証規定	132
決済端末(steria terminal standard)と本レジの接続 ..	105	仕様・スペック	134
決済端末接続用システムフラグの設定	106		
決済端末(steria terminal standard)と本レジとの接続確認	106		
SD メモリカードの使用方法	108		

- ・ GACHA レジ GR-1(本レジスター)を本取扱説明書では『本レジ』と記載します。
- ・ 記載されている製品名等の固有名詞は各社の登録商標または商標です。なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。
- ・ 本レジの仕様、表示デザインおよび外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

はじめに（製品概要）

お願い（本書に対するお願い）

この取扱説明書をお読みになる前に

- 本書の内容を当社に無断で転載、複写することはお断りします。
- 本書の内容および本レジについて、改善のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
- 本書の内容について万全を期して作成しておりますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本レジの使用・故障・修理等によるデータの消失、製品の改良や仕様変更による損害等、第三者よりのいかなる請求につきましても、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書記載のレシート、領収書、画面や本体のイラストなどは、実際の製品と異なる場合があります。（簡略化して記載している部分もあります。）
- 外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるもので、ヒビやキズではありません。強度も問題なくご利用頂けます。

安全に正しくお使いいただくために

据え付けについて

- 電源は AC100±10V です。専用配線を設けることをお勧めします。
- 機器の近傍にコンセントがあり、かつ、そのコンセントには容易にアクセスできるようにしてください。
- 指定された AC アダプターを必ず使用し、またその AC アダプターを他の製品に使用しないでください。
- 店内のどこからでもよく見えるところで、光線の具合がよい場所へ据え付けてください。
- 使用温度範囲は 0℃～40℃です。年間を通じて温度変化が少なく、通風のよい場所に置き、壁などからは 10 cm 以上離してください。
- 直射日光を長時間受けるところでのご使用は避けてください。カバーの変色、変形の原因となります。
- ストーブなどの熱を直接受けるところ、チリ、ホコリ、ガス、湿度、振動のあるところ、静電気の発生しやすいところでのご使用はお避けください。
- 花瓶などの水の入った物を機器の上に置かないでください。水をこぼした時、ショート等思わぬ事故になることがあります。
- 機器に使用している電子部品は強い磁気の影響を受けるとデータが変化する場合がありますので、次のような場所への据付けは避けてください。
 - ・ 電動機や受変電装置、トランスが近くにある場所（方向、距離に要注意）。
 - ・ 放送、通信アンテナが近くにある場所。
- 硫化水素ガス、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスおよび塩分を含んだ外気の侵入する場所への据付けは避けてください。
- ドロア（引き出し）が開く勢いで落下しないように設置してください。
- 1 日の作業終了後はスライドスイッチを OFF 位置にして、機械の外部をきれいに清掃点検し、常に最良の状態で使えるようにしてください。
- 本レジを使用できるのは日本国内のみです。海外では電源電圧が異なるため、使用することはできません。

◆ 本レジは商用地域で使用される製品です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。説明に従い正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の欄は【死亡または重傷などを負う可能性が想定される】内容です。
 注意	この表示の欄は【傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される】内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています（下記の絵表示の一例です）。

	このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい【強制】内容です。

◆ 本レジの取り扱い ◆

 警告	
 禁止	■ 電源電圧 AC100V±10% 50/60Hz 以外では使用しない 定格を超えると発熱による火災の原因になります。
	■ 内部に金属類・異物・指・燃えやすい物などを入れない 内部への接触による、火災・感電・けが・故障の原因になります。
	■ 本レジに液体の入った物を載せない 植木鉢、花瓶、コップなど液体が入った物を置かない。 火災・感電・けが・故障の原因になります。
	■ 本レジに重い物を載せたり、落としたりするなど強い衝撃を与えない 転倒・落下による、感電・けが・故障の原因になります。
	■ ドロア（引き出し）に寄りかからない 転倒・落下による、感電・けが・故障の原因になります。
 分解禁止	■ AC アダプター・電源プラグを破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 ● AC アダプターや電源プラグの修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ 絶対に分解・修理・改造しない 専門技術者以外の者に修理および調整をさせないでください。 火災・感電・けが・故障の原因になります。 ● 修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告

 接触禁止	■ 雷が鳴り始めたら、本体や電源プラグに触れない 感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	■ 濡れた手で電源プラグを持たない 感電の原因となります。 ■ 濡れた手や布で本レジを操作したり、拭いたりしない 火災・感電・故障の原因になります。
 電源プラグを抜く	■ 本レジが落下・破損したときは、使用をやめ電源プラグを抜く 火災・感電・けが・故障の原因になります。 ● 修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ■ 本レジ内部に水や異物などが入ったときは、即使用をやめ電源プラグを抜く 漏電や絶縁不良による、火災・感電・故障の原因になります。 ● 修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ■ 煙が出ている、異臭がするなど異常を感じたときは、使用をやめ即電源プラグを抜く 火災・感電・けが・故障の原因になります。 ● 修理や点検は、お買い上げの販売店にご相談ください ■ 長時間使用しないときは、電源プラグを抜く 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化・漏電により、火災・故障の原因になります。 ■ 本レジを移動するときは、電源プラグを抜く 通電状態で移動をすると、火災・故障・けがの原因になります。
	■ 本レジ専用の電源を用意する たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 ■ 指定された AC アダプターを使用し、その AC アダプターを他製品に使用しない 漏電や絶縁不良による、火災・感電・故障の原因になります。 ■ 電源プラグがコンセントに入ったまま、DC ジャックから DC プラグを抜かない 漏電や絶縁不良による、火災・感電・故障の原因になります。 ■ 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く 電源コードを引っ張って抜くと電源コードが切れたり、火災・感電の原因になります。 ■ 電源プラグは根元まで確実に挿し込む 挿し込みは不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる 電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ● 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてください。



コンセントから電源プラグを抜いたときは、再び挿すまで10秒以上の時間を空けてください。



注意



■ プリンタギアの巻き込みに注意

ロール紙交換などの際、プリンタのギアに髪の毛やスカーフなど巻き込まれないように注意してください。

故障・けがの原因となります。

■ プリンタヘッド部に注意

プリンタのヘッド部には触れないように注意してください。

故障・けが・火傷の原因となります。

■ ドロアを開けるときは要注意

ドロア（引き出し）が開く際は子供の顔など当たらないように注意してください。

故障・けがの原因となります。

■ 設置台の材質に注意

本レジのゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

■ 本レジを使用できるのは日本国内のみ

海外では電源電圧が異なるため、使用することはできません。

◆ 設置上の注意 ◆



警告



禁止

- ドロア(引き出し)が開く際、人の頭や顔（特に目）にあたるような位置には絶対に設置しない
けがをするおそれがあります。
- 不安定な所に置かない
転倒・落下によるけが・故障の原因となります。
● ドロア(引き出し)の開くいきおいで落下しないように設置してください。
- 高周波、高ノイズを発生する機器の側、高電流の流れている場所に設置しない
電波の干渉により、表示などが乱れるおそれがあります。
- ゴミやほこりの多い場所、湿度が高い場所、温度が定格を超える場所には設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 水などの液体がかかる場所には設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたる場所には設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 直射日光やストーブなど熱を直接受ける場所には設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- エアコンなどの冷気が直接あたる場所場所には設置しない
火災・感電・故障の原因になります。
- 振動のある場所、静電気が発生しやすい場所、ガスが多い場所には設置しない
硫化水素ガス、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスおよび塩分を含んだ外気の侵入する場所への据付けは避けてください。
火災・感電・故障の原因になります。
- 電動機や受変電装置、トランス、放送、通信アンテナの近くには設置しない
本レジに使用している電子部品は強い磁気の影響を受けるとデータが変化する場合があります。



- 0～40℃の環境内で使用する
● 年間を通じて温度変化が少なく、通風のよい場所に設置してください。
● 店内のどこからでもよく見えるところで、光線の具合がよい場所へ据え付けてください。
- 機器の近傍に電源コンセントがあり、かつ、電源プラグの抜き差しが容易である場所に設置する
- 壁などから 10 cm以上離して設置する
- ドロア(引き出し)が開く勢いで落下しないように設置する
故障・けがのおそれがあります。



本レジは商用地域で使用される製品です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。説明に従い正しい取り扱いをしてください。

◆ 乾電池の取り扱い ◆

**警告**

禁止

- 新・旧の乾電池や種類の違う乾電池を混在しない
乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。
- 乾電池の⊕と⊖を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなど金属製品といっしょに持ち運んだり、保管しない
乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。
- 乾電池を充電したり、火の中に入れたり、加熱・分解しない
乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。
- 乾電池の⊕と⊖を逆にして使用しない
乾電池の発熱、液もれ、破裂および、けがの原因になります。



- 乾電池のもれた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、多量のきれいな水で十分に洗い流した後、すぐ医師の治療を受ける
失明やけがをするおそれがあります。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出す
使い切った乾電池を装着したまま長時間放置すると、乾電池の発熱・液もれ・破裂の原因になります。
 - 液もれが起きている乾電池は使用しないでください。
 - 万一、もれた液が身体に付いたら、多量のきれいな水で十分に洗い流して、医師の治療を受けてください。

**注意**

- 保証期間内の乾電池を使う
乾電池の発熱によるやけどや液もれの原因になることがあります。
 - 液もれが起きている乾電池は使用しないでください。
 - 万一、もれた液が身体に付いたら、多量のきれいな水で十分に洗い流して、医師の治療を受けてください。
- 本レジを1年以上使用しないときは乾電池を取り出す
乾電池の液もれの原因になります。
- 直射日光・高温・多湿の所を避けて保管する
乾電池の液もれ・発熱・破裂の原因になります。

◆ ロール紙の取り扱い ◆



注意



- 未使用・使用済みに関わらず、高温、高湿、直射日光を避け、アルコール類と同一箇所で保管しない

ロール紙の品質低下による、発色、消色を防ぐため、未使用、使用済みに関わらず黒色ポリエチレン袋に入れて保管してください。

◆ お手入れの注意 ◆



注意

- マシンカバーなどの汚れを掃除する場合は、電源プラグを抜く
必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから作業を行ってください。

- 濡れた布で本レジを拭かない

- 本体の汚れを拭くときは、乾いた布かシリコンクロスで拭いてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液に浸した布を固く絞って拭いてください。
- シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤などはプラスチック溶解や塗装を破損させる恐れがあるため使用しないでください。

ご使用になる前に

用意するもの

- 家庭用電源 100V コンセント



機器の近傍にコンセントがあり、かつ、そのコンセントには容易にアクセスできる場所に据え付けてください。

- ロール紙 紙幅 58mm×外径 60mm 感熱紙タイプ



- 付属のロール紙は動作確認用となります。運用開始時には新品をご用意ください。
- ロール紙は弊社指定の純正紙（58 mm×60φの感熱紙）をご使用ください。

- 乾電池 単3形 2本(マンガン乾電池、またはアルカリ乾電池)



- 付属の乾電池は動作確認用となります。運用開始時には新品をご用意ください。
- 充電式電池は使用できません。

- SDHC メモリカード (SD メモリカード) メモリ容量：8GB 以下推奨



microSD メモリカードは使用しないでください。誤動作の原因となります。

決済端末を接続してお使いになる場合

決済端末を本レジと接続してご使用の場合は、別途下記表にまとめた機器などが必要になります。
詳しくは『決済端末について 103 ページ』をご参照ください。

● 決済端末 stera terminal standard Panasonic JT-C60 ● 決済端末接続用専用ケーブル	ご契約される決済サービス提供会社へご依頼ください。 なお、決済端末のご契約、設定、接続ケーブル等には別途費用がかかります。あらかじめご了承ください。
● 有線 LAN ケーブル ※ 決済端末を Wi-Fi で接続する場合は必要ありません	決済端末を有線 LAN で接続する場合、ご使用するルータから決済端末を設置する場所までの十分な長さのものをご準備ください。

本レジご使用の準備

箱から取り出す

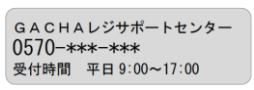
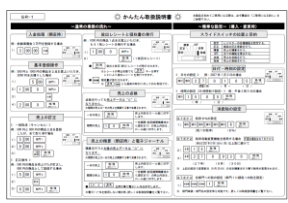
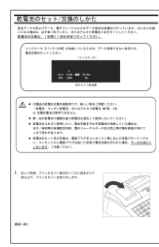
- 梱包箱からレジスター本体と付属品を取り出し、保護テープをはがします。



表示に保護シートが貼ってあります。はがしてご使用ください。

付属品の確認

- 箱より付属品を取り出し、全部そろっているか確認します。

専用 AC アダプター	単 3 形乾電池 2 本 ※動作確認用	ロール紙 1 巻 ※動作確認用	ドア用鍵 2 本
	データ保持用 		
サポートセンターシール 2 枚	かんたん取説	ロール紙交換のしかた	乾電池交換のしかた
 ※実際 “*” には電話番号が入ります			
店名ロゴロードのしかた	取扱説明書(本書)		
			



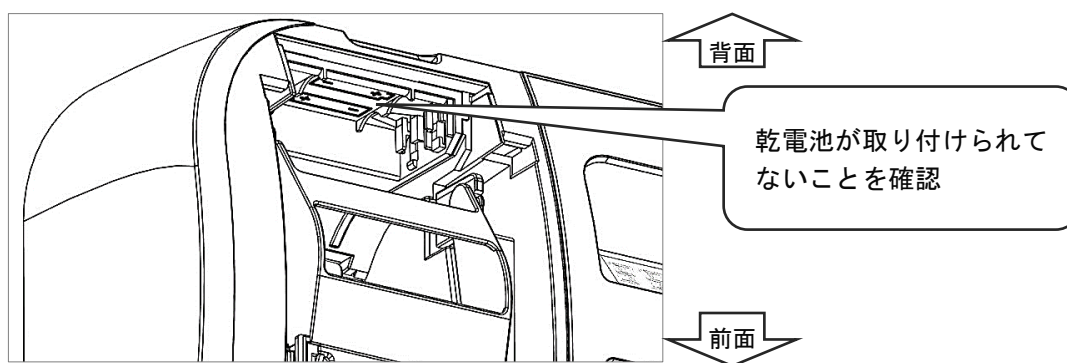
付属の乾電池、ロール紙は動作確認用です。運用開始時には新品をご用意ください。

- ・ 乾電池：単3形 2本(マンガン乾電池、またはアルカリ乾電池)
※ 充電式電池は使用できません。
- ・ ロール紙：紙幅58mm×外径60mm 感熱紙タイプ

設置

初めての設置の際には、システムクリアを行います。また設置最後に、設定データや売り上げデータ、電子ジャーナルなどのデータを保持するため、必ず 乾電池をセット してからご使用ください。

1. 本レジを店内のどこからでもよく見え、光線の具合がよく水平な場所へ据え付けてください。
2. データ保持用の 乾電池が取り付けられてない ことを確認します。
『乾電池のセット/交換のしかた 129 ページ』を参考にご確認ください。



3. ロール紙をセットします。『ロール紙のセット/交換のしかた 127 ページ参照』
4. 専用 AC アダプターのプラグを本レジ背面の穴 (DC ジャック) へ挿し込みます。



- まだ電源プラグをコンセントへ挿さないでください。
- 指定されたACアダプターを必ず使用してください。

専用 AC アダプターの
プラグを
奥まで挿し込む



5. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。



家庭用電源 100V のコンセントへ確実に挿し込んでください。

この時、本レジはシステムクリアを行います。(工場出荷時の状態)

レシート印字

*****システムクリア*****

と、印字されたレシートが発行されます。

6. 日付、時刻を設定します。

- ① 表示部に “**-*-*-**” と表示されたら
現在の日付を入力してください。

例：2027 年 1 月 1 日と設定する場合

2	7	0	1	0	1	現/預 (後出レシート)
---	---	---	---	---	---	-----------------



- ② 表示部に “TM **-*-*-**” と表示されたら
現在の時刻を入力してください。

※ 24 時間制で設定してください。

例：15 時 2 分と設定する場合

1	5	0	2	現/預 (後出レシート)
---	---	---	---	-----------------



<レシート印字例>

日付	2027 年 01 月 01 日
時刻	午後 03 時 02 分



表示部に “TM **-*-*-**” と表示している時に
1 つ前の 6. ① 日付の設定へ戻ります。

C

キーを押すと、

7. 表示部に “OK ?” と表示されたら

[現/預] キーを押します。

現/預 (後出レシート)



日付、時刻の設定間違いに気が付いた場合は
C キーを押してください。
1 つ前の 6. ② 時刻の設定へ戻ります。

現/預
(後出レシート)

キーではなく、

C

8. データ保持用の乾電池（単 3 形マンガン、またはアルカリ乾電池×2 本）をセットします。

『乾電池のセット/交換のしかた 129 ページ参照』



- 設定データや売り上げデータ、電子ジャーナルなどのデータを保持するため必ず 乾電池をセット してください。
- 乾電池をセットするときは、設定データや売り上げデータ、電子ジャーナルなどのデータが消えてしまうため、必ず 電源が入った状態 で行ってください。

以上で、設置は終了です。

レシート印字で設定すること

<レシート例>

御計算書		1
***** 毎度ありがとうございます *****		
2027 年 01 月 01 日		2
3 — 部門 01	¥4,500 内	

小計	¥4,500	
内税 1 対象額 10%	¥4,500	
(内税 1 額 10%)	¥409)	

商品点数	1	
合計	¥4,500	
現金	¥5,500	
午後 02 時 00 分	0001#000163	
5 — 登録番号: T1234567890123		4

またのご来店をお待ちしております		6
レシートは大切に保管ください		

1. 店名ロゴ

工場出荷時の初期設定は“御計算書”です。
SD カードより読み込んだ店名ロゴが印字されます。
『店名ロゴの読み込み 112 ページ参照』

2. ヘッダーメッセージ

工場出荷時の初期設定では印字しません。
1 行 16 文字(半角 32 文字)を 6 行分まで設定できます。
『ヘッダー部に印字するメッセージの選択 82 ページ参照』

3. 部門名

工場出荷時の初期設定は“部門 01~04”です。
名称表一覧より選択した名称で印字できます。インボイス対応では取引内容を具体的に示す必要がありますので、必ず部門名に名称を設定してください。
『部門キーへの名称設定 72 ページ参照』

4. 機器番号

工場出荷時の初期設定は“0000”のため印字されません
*0000 以外の数字を設定した時、印字されます。
同じ店舗内に本レジが複数台設置されている時など、どのレジのレシートか区別するときなどにご使用ください
『機械番号の設定 77 ページ参照』

5. 事業者登録番号

インボイス制度(適格請求書等保存方式)で、課税事業者の登録番号を印字する際に使用します。
『登録番号の設定 93 ページ参照』

6. フッターメッセージ

工場出荷時の初期設定では印字しません。
1 行 16 文字(半角 32 文字)を 4 行分まで設定できます。
『フッター部に印字するメッセージの選択 85 ページ参照』



インボイス(適格請求書)としてレシートを発行するときは、以下の記載要件があります。

- ① 適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び登録番号
 - ② 取引年月日
 - ③ 取引内容(軽減税率の対象品目である場合はその旨)
 - ④ 税抜価格又は税込価格を税率ごとに区別して合計した金額
 - ⑤ 税率ごとの区分した消費税額等又は適用税率
 - ⑥ 消費税等(端数処理は一請求書当たり。税率毎に1回ずつ)
- * 不特定多数の者に対して販売を行う小売業、飲食店業、タクシー業に係る取引の場合は、書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称は省略できます。(適格簡易請求書)
 - インボイス対応については、お客様が国税庁等の行政機関ホームページや相談窓口で最新情報をご確認いただき、税理士・中小企業診断士等の専門家の方にご相談いただいて、レジスターの運用をご決定願います。
 - インボイス(適格請求書)を発行できるのは、適格請求書発行事業者に限られます。課税事業者になり、事前に税務署長の登録を受ける必要があります。
 - 免税事業者はインボイスを発行できません。

課税方式について

消費税の計算方式には、下記 3 点の課税方式があります。工場出荷の初期設定では『内税方式(税込)』に設定されています。

*工場出荷の初期設定内容については『初期設定について 14 ページ』をご参照ください。

内税方式(初期設定時)	外税方式	非課税方式
商品価格に、消費税が含まれている販売方式(税込み) 例：価格 1,000 円 消費税 10%の場合 本体価格 909 円 消費税額 91 円 合 計 1,000 円	商品価格に、消費税が含まれていない販売方式(税抜き) 例：価格 1,000 円 消費税 10%の場合 本体価格 1,000 円 消費税額 100 円 合 計 1,100 円	商品価格に、消費税がかからない販売方式(非課税) 例：価格 1,000 円 消費税なしの場合 本体価格 1,000 円 消費税額 0 円 合 計 1,000 円



インボイス(適格請求書)としてレシートを発行するときは、内税、外税のどちらかに統一してご使用頂く必要があります。

(インボイスでは税率ごとの消費税額等1円未満の端数処理が1回と定められています。)

また、総額表示やたばこの登録(必ず内税)などを考慮すると内税で使用することを推奨します
免税事業者の方は税率を0%、もしくは税額を印字しない設定にすることを推奨します。

『免税事業者の場合 95ページ参照』

初期設定について

ここでは本レジの工場出荷の初期設定内容を記載します。

内税方式でご使用のときは、そのままお使いいただけます。

<部門初期設定>

	名称	課税方式	税率
部門1	部門01	内税	税率1 (10%)
部門2	部門02	内税	税率1 (10%)
部門3	部門03	内税	税率2 (8%/軽減税率)
部門4	部門04	非課税	—

- ・ 名称：『部門キーへの名称設定 72 ページ参照』
- ・ 課税方式：『部門キーへの税属性(課税方式)設定 74 ページ参照』
- ・ 税率：『部門キーへの税率の選択 75 ページ参照』



課税方式は、総額表示やたばこの登録(必ず内税)など考慮し“内税”を推奨しております。

<課税初期設定>

	税率	軽減税率	小数点以下まるめ
税率1	10%	—	四捨五入
税率2	8%	○	
税率3	—	—	
税率4	—	—	

- ・ 税率：『税率(消費税率)の設定 88 ページ参照』
- ・ 軽減税率：『システムフラグの設定 96 ページ フラグ 18 参照』
- ・ 小数点以下まるめ：『システムフラグの設定 96 ページ フラグ 12 参照』

<その他初期設定>

	内容	初期値	参照
%キー	キー役割	割引として使用	割引き/割増し率の設定 86ページ
割引 / 割増	小計割引/割増時の課税設定	課税	システムフラグの設定 96ページ フラグ16、フラグ17
値引	小計値引時の課税設定	課税	
領収書	印字方向	縦型	領収書印字向きの設定 92ページ
	収入印紙欄印字額	50,000円	領収書収入印紙欄金額の設定 92ページ
電子 ジャーナル	電子ジャーナルメモリが一杯になった時の処理方法	古い電子ジャーナルから自動消去	システムフラグの設定 96ページ フラグ69

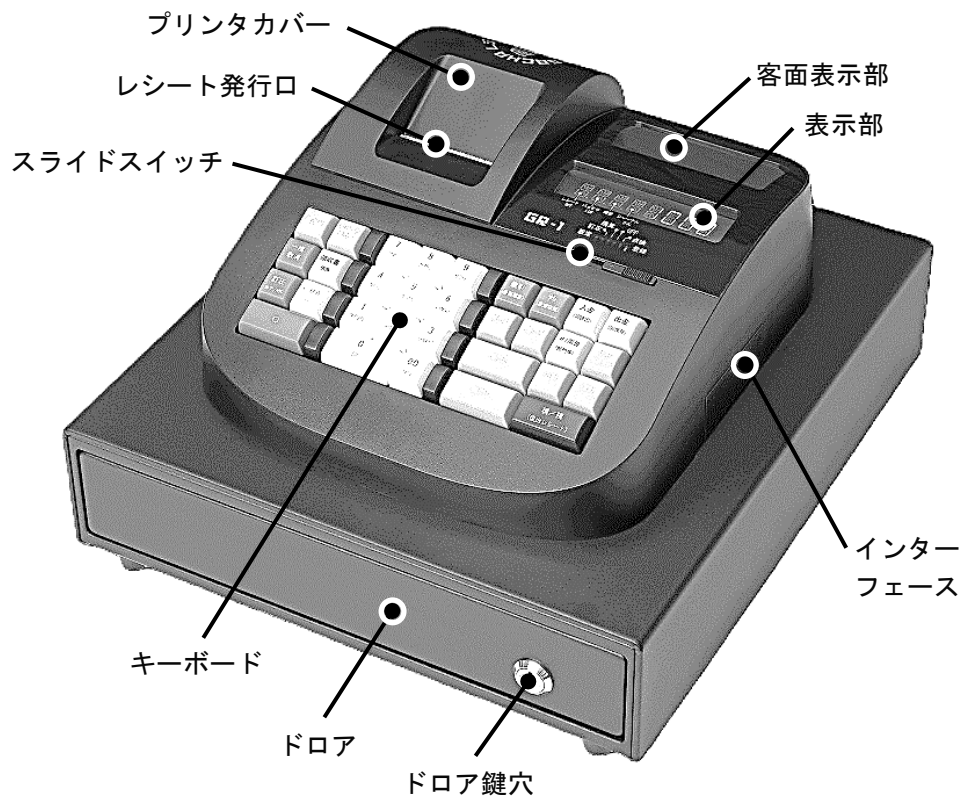


- 小計値引き/小計割引きの課税設定は、複数税率の取引を考慮し“課税”を推奨しております。
- 電子ジャーナルは、最大3,000行分が内部に保存され、それを超えると自動的に古い売り上げ内容から消去される 設定となっております。
インボイス対応のときは、インボイス交付の写しが必要です。必ず電子ジャーナルを印字して保管してください。

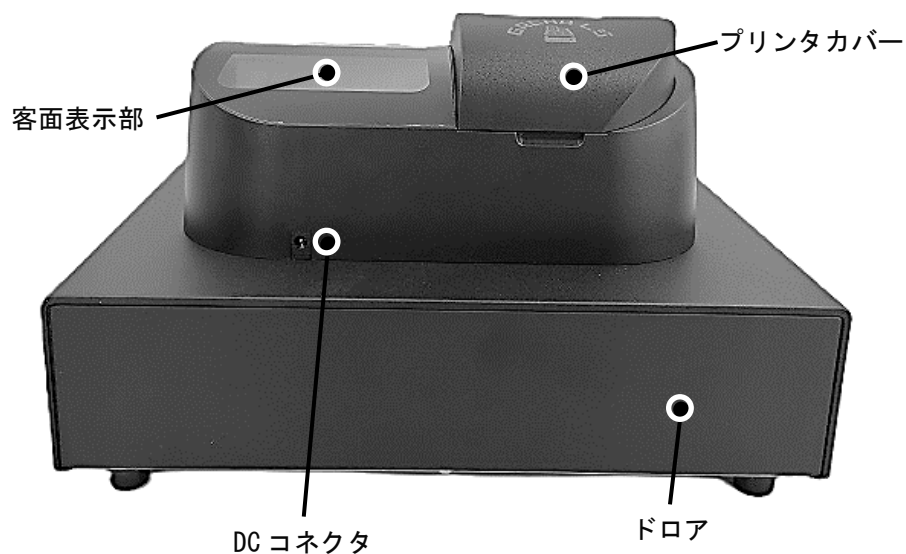
各部の名称と機能

各部名称

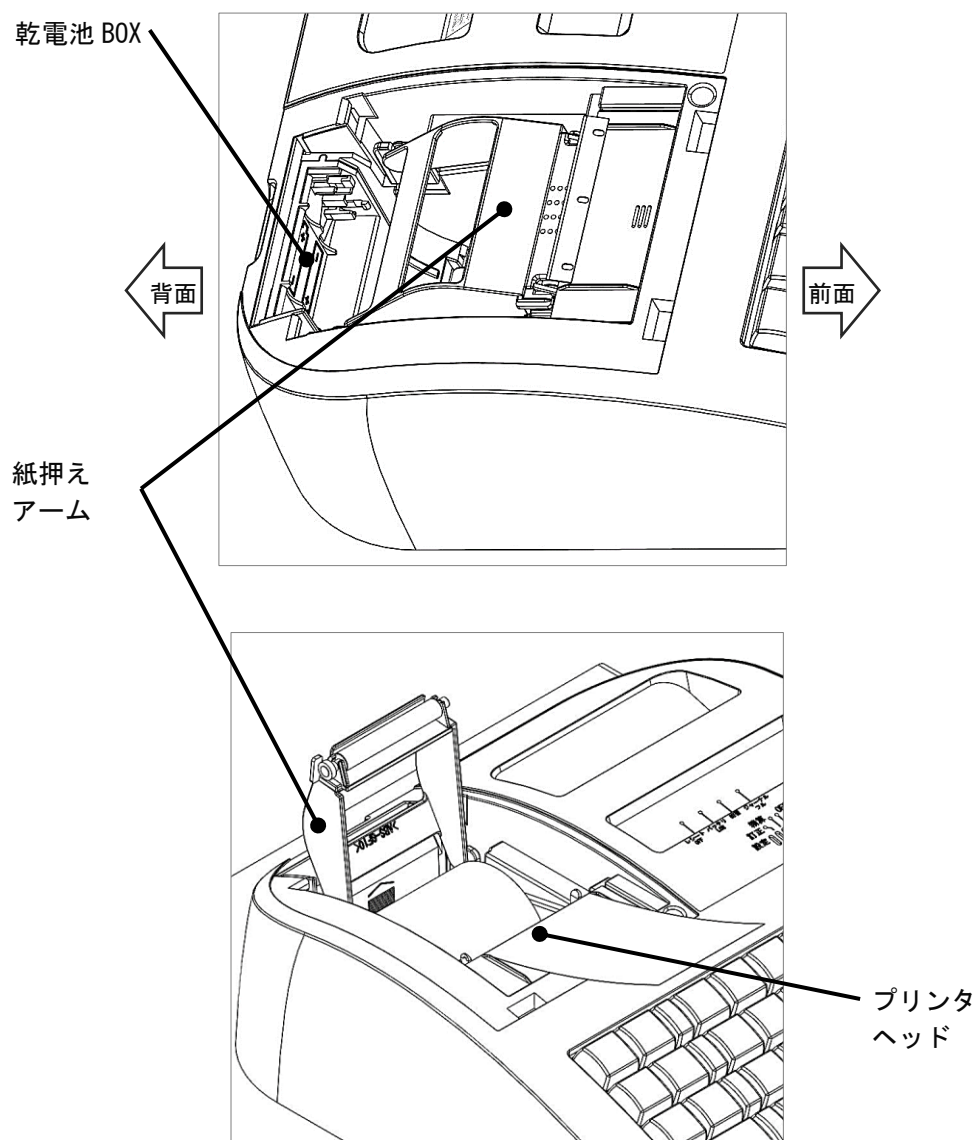
<正面>



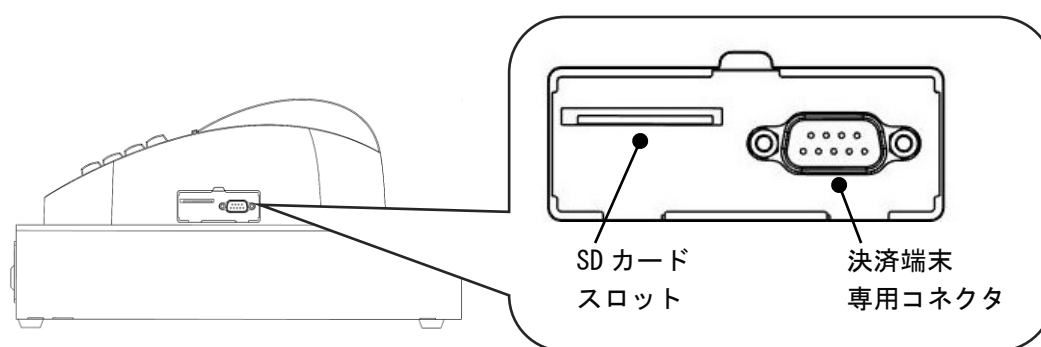
<背面>



＜プリンタ内部（プリンタカバー、乾電池 BOX カバーを開けた状態）＞

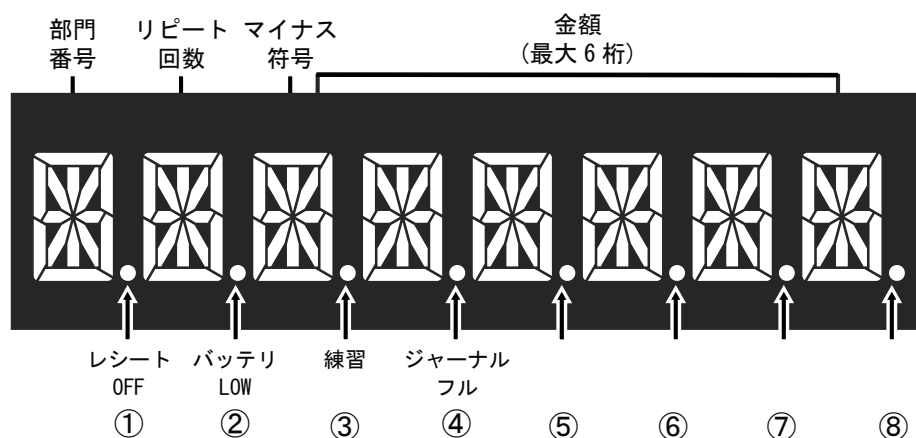


＜インターフェース内部（インターフェースカバーを開けた状態）＞



※ SD カード裏面を上にして、SD カードスロットへ挿入します。

表示、客表示



<インジケータ>

表示位置	機能	表示状態	スライドスイッチ位置
①	レシート OFF (レシート発行停止) のとき	点灯	—
②	電池残量が少なくなったとき	点滅	—
③	トレーニング (練習) モードのとき	点灯	—
④	電子ジャーナルがほぼ満杯になったとき	点滅	—
⑤	点検モードのとき	点灯	点検
⑤⑥	精算モードのとき	⑤⑥同時点灯	精算
⑦	レシート訂正モードのとき	点滅	訂正
⑧	設定モードのとき	点灯	設定

<支払い表示>

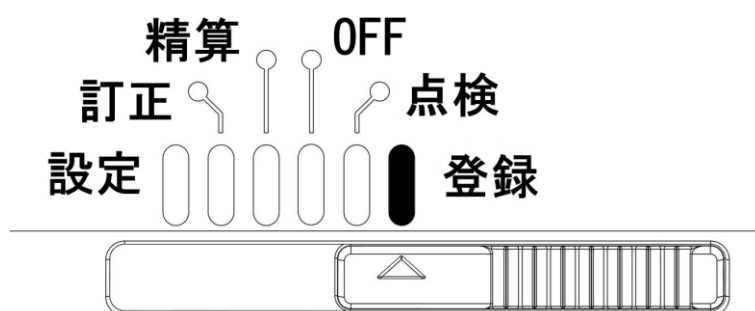
操作	表示
[小計]キーを押した時の表示 (左端に “ S ” を表示)	
[現/預]キー、[Ⅱ計]キー、[信計]キーを 預かり金操作なしで押した時の表示 (左端に “ = ” を表示)	
お釣りの表示 (左端に “ C ” を表示)	



取扱説明書の表示例と実際の表示の見え方と異なる場合があります。
ご了承ください。

スライドスイッチ

スライドスイッチをスライドさせると、次の6つの位置に合わせることができます。
目的に応じてそれぞれの位置へ合わせてください。

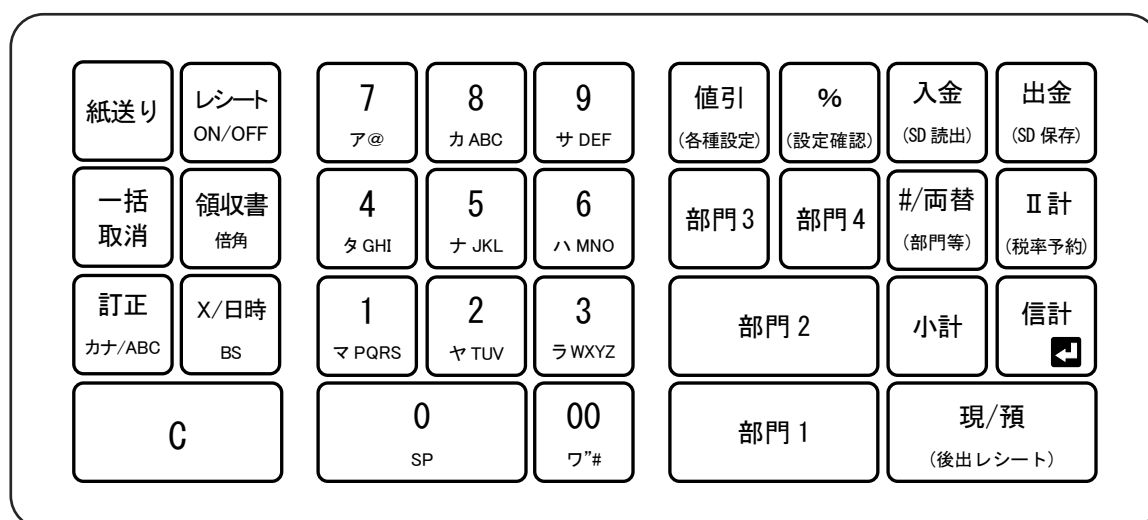


※ 上記図は【登録モード】の例になります。

＜スライドスイッチ機能説明＞

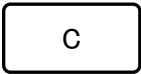
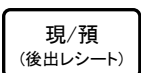
スイッチ位置	モード名	機能
設定	設定モード	本レジの各種機能を設定します。
訂正	訂正モード	訂正登録を行います。
精算	精算モード	一日の売り上げを精算し、レポートを発行します。
OFF	停止モード	すべての機能を停止します。
点検	点検モード	営業途中(点検時点)の売り上げレポートを発行します。
登録	登録モード	商品の通常登録(売り上げ)を行います。

キーレイアウト



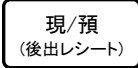
キーの名前とはたらき

<登録モード、レシート訂正モード、トレーニングモード>

キー	名前	機能
	クリアーキー	置数を訂正します。エラー解除するときにも使用します。
	訂正キー	売り上げなどを訂正します。
	一括取消キー	登録途中のすべての操作を取り消します。
	紙送りキー	押下している間、レシートを送ります。
	乗算キー	個数を入力します。(個数)  (金額) 日付・時刻を表示します。
	領収書キー	領収書を発行します。
	レシート ON/OFF キー	レシートの発行を停止したり、発行停止を解除したりします。
	置数キー	金額、乗算個数、割引/割増などの数字を入力します。
	部門キー	商品登録するときに使用します。
	値引キー	定額の値引きを指定、または値引きの金額を入力して使用します。
	パーセントキー	引きまたは、割増しするときに使用します。 (初期値は引きに設定されています。)
	現/預キー	現金でお支払いのときに使用します。 登録後はレシートの再発行をします。
	小計キー	登録金額の税込合計を見るときに使用します。
	#/両替キー	両替のときにドロアを開けます。 売り上げに関係ない任意の数字を入力するときに使用します。

キー	名前	機能
	入金キー	つり銭の準備金などドロアに入金するときに使用します。
	信計キー	クレジットカード、電子マネー、コード決済でお支払いのとき使用します。
	II 計キー	商品券や金券などでお支払いのとき使用します。
	出金キー	小口払いなどドロアより出金するときに使用します。

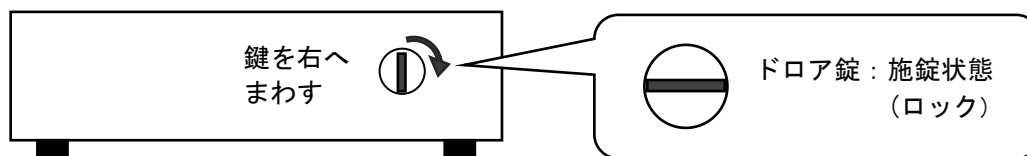
<設定モード>

キー	名前	機能
	確定キー	入力した設定を確定します。
	各種設定キー	各種設定項目を選択します。
	設定確認キー	設定内容の確認印字を選択します。
	部門等キー	部門等の設定を選択します。
	税率予約キー	税率予約項目を選択します。
	SD 読出キー	SD カードの読み込みを選択します。
	SD 保存キー	SD カードへの保存を選択します。

ドロア

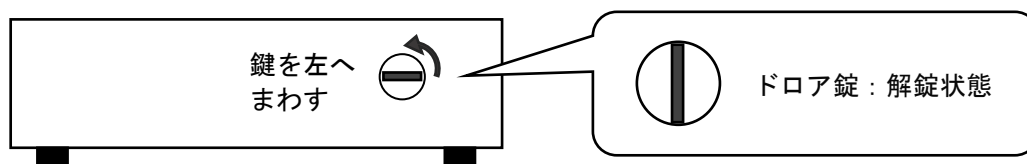
鍵の施錠(ロックする)

鍵を右へ回す(時計回りへまわす)と、ドロアの鍵が施錠(ロック)されます。



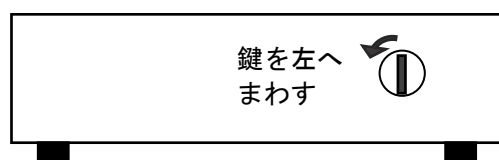
鍵の解錠

鍵を左へ回す(反時計回りへまわす)と、ドロアの鍵が解錠されます。



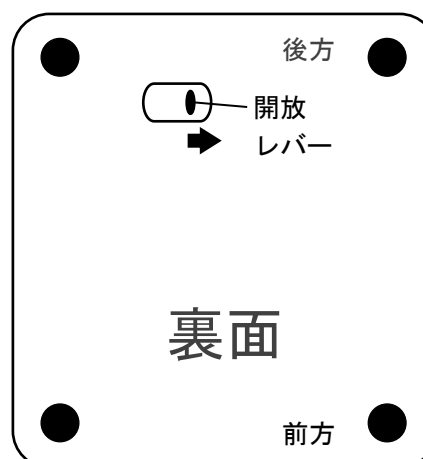
ドロアを開ける

ドロアの鍵の解錠状態から、さらに左へ回す(反時計回りへまわす)と、ドロアが開きます。



非常オープン方法

故障や停電などでドロアが開かなくなった場合は、ドロアの鍵を解除状態でドロア裏面の開放レバーを右へスライドしてください。



基本的な操作のしかた

レシート・領収書の見方

※ ★印は初めてお使いになるときは設定されておりません。別途設定が必要な項目となります。

レシートの印字例

	SHOP GACHA 東京都文京区本郷***-*** TEL : 9876-54-3210		店名ロゴ ★ SD カードより読み込んだ店名ロゴが印字されます。『店名ロゴの読み込み 112 ページ参照』
	***** キャンペーン実施中！ *****		ヘッダーメッセージ ★ 『ヘッダー部に印字するメッセージの選択 82 ページ参照』
日付	2027 年 01 月 01 日		
部門名称	部門 01 ¥4,500 内 値引 ¥-30		単品登録(内税) 商品値引き
	部門 01 4x ¥320 ¥1,280 内		乗算登録(内税)
	部門 03 ※ ¥300 内		軽減税率商品(内税)
軽減税率品商品	割引 5% ¥-15		商品引き
	部門 04 ¥400 非		非課税商品

	小計 ¥6,435		登録小計
	割引 10% ¥-644		小計割引

	小計 ¥5,791		登録小計
	内税 1 対象額 10% ¥5,175		10%内税対象計
	(内税 1 額 10% ¥470)		10%内税計
	内税 2 対象額 8% ¥256		8%内税対象計(軽減税率対象計)
	(内税 2 額 8% ¥19)		8%内税計(軽減税率内税計)
	非課税額 ¥360		非課税計

	商品点数 7		お買い上げ点数

	合計 ¥5,791		合計
	現金 ¥6,091		お預り金額
	お釣り ¥300		お釣り
軽減税率品の売り上げ がある時のみ印字	注) ※印は軽減税率(8%)適用商品		
時刻	午後 02 時 28 分 0001#000164		一連番号
適格請求書発行	登録番号:T1234567890123		機械番号 ★ 『機械番号の設定 77 ページ参照』
登録番号 ★ 『登録番号の設定 93ページ参照』	***** またのご来店をお待ちしております レシートは大切に保管ください *****		フッターメッセージ ★ 『フッター部に印字するメッセージの 選択 85 ページ参照』
	 お買い上げ ありがとうございます		店名スタンプ ★ 『店名スタンプの読み込み 113 ページ 参照』

 このページ以降のレシート印字例は、店名ロゴ、日付、時刻、一連番号など省略しております。ご了承ください。

領収書の印字例

領収書単独では、インボイス(適格請求書)に対応しておりません。取引明細、税率の印字があるレシートが必要になります。

● 縦向き印刷例

SHOP GACHA (領収書サンプルです) 東京都文京区本郷***-*** TEL : 9876-54-3210	店名ロゴ ★ SD カードより読み込んだ店名ロゴが印字されます。 『店名ロゴの読み込み 112 ページ参照』
領 収 書	
領収番号 000085 000164	領収書番号 一連番号
様	お客様名記入欄
¥55,000	領収金額
税抜き額 ¥50,000 消費税額 ¥5,000 但	
2027 年 01 月 01 日 上記正に領収致しました	
収入印紙	収入印紙 ★ 設定金額以上の売上げの時印字されます。(初期値 50,000 円) 『領収書収入印紙欄金額の設定 92 ページ参照』
お買い上げ ありがとうございます	店名スタンプ ★ SD カードより読み込んだ店名スタンプが印字されます。 『店名スタンプの読み込み 113 ページ参照』
印刷面を内側に折って 保管してください	

● 横向き印刷例：★横向き印刷にするには設定が必要です。『領収書印字向きの設定 92 ページ参照』

お客様名記入欄	領収金額	
領 収 書	様	領収番号 000085 000164
	¥55,000-	領収書番号 一連番号
但 2027 年 01 月 01 日 上記正に領収致しました	税抜き額 ¥50,000- 消費税額 ¥5,000-	収入印紙
SHOP GACHA (領収書サンプルです) 東京都文京区本郷***-*** TEL : 9876-54-3210	お買い上げ ありがとうございます	収入印紙 ★ 設定金額以上の売上げの時 印字されます。 (初期値 50,000 円) 『領収書収入印紙欄金額の 設定 92 ページ参照』
店名ロゴ ★ SD カードより読み込んだ店名ロゴが印字 されます。『店名ロゴの読み込み 112 ページ 参照』	店名スタンプ ★ SD カードより読み込んだ店名スタンプが印字されます。 『店名スタンプの読み込み 113 ページ参照』	

登録のしかた

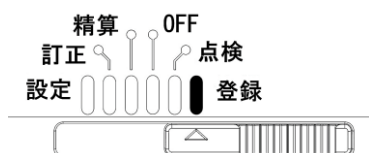
本項での説明や印字例は、工場出荷の初期設定のままで売り上げ操作をした場合の例となります。
異なる課税方式や税率での操作方法是変わりませんが、印字内容は異なりますのでご注意ください。

<部門初期設定>

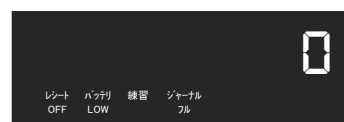
部門	税率	課税方式	まるめ
部門1	10%	内税	四捨五入
部門2	10%	内税	四捨五入
部門3	8%	内税(軽減税率)	四捨五入
部門4	0%	非課税	—

スライドスイッチが【登録】位置にあることを確認してください。

<スライドスイッチ位置>



<インジケータ>



インジケータ点灯無し

1 品の商品をお買い上げのとき

1 品の商品をお買い上げのときの操作方法を説明します。

<例>

商品金額	個数	部門	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 商品の金額と[部門 1]キーを押す 1 2 00 部門 1		
3. すべての商品を入力し、[小計]キーを押す 小計		
4. 預かり金額を押す 2 0 00		
5. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		

部門 01 ¥1,200 内

小計 ¥1,200
 内税 1 対象額 10% ¥1,200
 (内税 1 額 10% ¥109)

商品点数 1

合計 ¥1,200
 現金 ¥2,000
 お釣り ¥800

同じ商品を複数お買い上げのとき

同じ商品を複数お買い上げのときの操作方法を説明します。

<例>

商品金額	個数	部門	預かり金
¥200	12	部門 2	¥2,500

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 商品の個数×金額 [部門 2]キーを押す 1 2 X/日時 2 00 部門 2 (数量) (金額)		部門 02 12x ¥200 ¥2,400 内
3. すべての商品を入力し、[小計]キーを押す 小計		小計 ¥2,400 内税 1 対象額 10% ¥2,400 (内税 1 額 10% ¥218)
4. 預かり金額を押し、[現/預]キーを押す 2 5 00 現/預 (後出レシート)		商品点数 12 合計 ¥2,400 現金 ¥2,500 お釣り ¥100



同じ【部門】キーを複数回押して、繰り返し登録を行うことも可能です。

2 品以上の商品をお買い上げのとき

複数の商品をお買い上げのときの操作方法を説明します。

<例>

商品金額	個数	部門	預かり金
¥200	1	部門 3	¥2,500
¥800	1	部門 2	
¥1,100	1	部門 1	

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 商品の金額を押し[部門]キーを押す 2 00 部門3 8 00 部門 2 1 1 00 部門 1	  	部門 03 ※ ¥200 内 部門 02 ¥800 内 部門 01 ¥1,100 内 小計 ¥2,100 内税 1 対象額 10% ¥1,900 (内税 1 額 10% ¥173) 内税 2 対象額 8% ¥200 (内税 2 額 8% ¥15) 商品点数 3
3. すべての商品を入力し、[小計]キーを押す 小計		
4. 預かり金額を押し、[現/預]キーを押す 2 5 00 現/預 (後出レシート)		合計 ¥2,100 現金 ¥2,500 お釣り ¥400 注) ※印は軽減税率 (8%) 適用商品

複数の商品を複数個お買い上げのとき

複数の商品を複数お買い上げのときの操作方法を説明します。

<例>

商品金額	個数	部門	預かり金
¥300	10	部門 3	¥6,000
¥500	5	部門 2	
¥200	2	部門 1	

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 商品の個数×金額 [部門]キーを押す 1 0 X/日時 3 00 部門3 (数量) (金額) 5 X/日時 5 00 部門 2 (数量) (金額)	 	部門 03 ※ 10x ¥300 ¥3,000 内 部門 02 5x ¥500 ¥2,500 内 部門 01 ¥200 内 部門 01 ¥200 内 小計 ¥5,900 内税 1 対象額 10% ¥2,900 (内税 1 額 10% ¥264) 内税 2 対象額 8% ¥3,000 (内税 2 額 8% ¥222) 商品点数 17 合計 ¥5,900 現金 ¥6,000 お釣り ¥100 注) ※印は軽減税率 (8%) 適用商品
3. 商品の個数分だけ、[部門]キーを繰り返し押すこともできます 2 00 部門 1 部門 1		
4. すべての商品を入力し、[小計]キーを押す 小計		
5. 預かり金額を押し、[現/預]キーを押す 6 0 00 現/預 (後出レシート)		

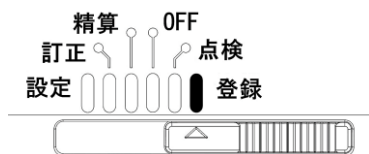


【部門】キーを複数回押して、繰り返し登録を行うことも可能です。

領収書の発行のしかた

スライドスイッチが【登録】位置にあることを確認してください。

〈スライドスイッチ位置〉



〈インジケータ〉



インジケータ点灯無し



- 領収書の収入印紙貼り付け欄は、設定金額（初期値50,000円）以上の売り上げ（税抜き）の時、自動的に印字されます。収入印紙欄の金額変更方法は『領収書収入印紙欄金額の設定 92ページ』をご参照ください。
- 登録モードで発行、合計金額がプラスの場合のみ発行します。
- 領収書控えはレシートへ印字されませんが、電子ジャーナルへは記憶されます。
- 領収書は『レシート停止』状態でも発行することができます。

発行したレシートの領収書を発行するとき

レシートを発行してから領収書を発行するときの操作を説明します。



発行できる領収書は、直前に行った取引のみとなります。

〈例〉

商品金額	個数	部門	預かり金
¥3,000	1	部門 1	¥20,000
¥15,000	1	部門 3	

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 商品を売り上げる	3 0 00 部門 1 1 5 0 00 部門3	1 3000 3 15000
3. すべての商品を入力し、[小計]キーを押す	小計	5 18000
4. 預かり金額を押し、[現/預]キーを押す	2 00 00 現/預 (後出レシート)	[2000

部門 01 ¥3,000 内
部門 03 ※ ¥15,000 内

小計 ¥18,000
内税 1 対象額 10% ¥3,000
(内税 1 額 10% ¥273)
内税 2 対象額 8% ¥15,000
(内税 2 額 8% ¥1,111)

商品点数 2

合計 ¥18,000
現金 ¥20,000
お釣り ¥2,000
注) ※印は軽減税率 (8%) 適用商品

次ページへ続く

5. レシート発行後、[領収書]キーを押す



C 2000

領収書

領収番号 000085
000168

様

¥18,000-

税抜き額 ¥16,616-
消費税額 ¥1,384-
但

2027 年 01 月 01 日
上記正に領収致しました

印

印刷面を内側に折って
保管して下さい

金額を指定して領収書を発行するとき

金額を指定して領収書を発行するときの操作を説明します。



この領収書発行方法では『税抜き額』『消費税額』の印字はされません。

<例> ¥10,000 の領収書を発行する。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる

0

2. 発行したい領収書金額を入力する

1 00 00

10000

3. [領収書]キーを押す



10000

領収書

領収番号 000086
000169

様

¥10,000-

但

2027 年 01 月 01 日
上記正に領収致しました

印

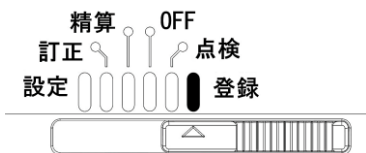
印刷面を内側に折って
保管して下さい

操作を間違えたとき（訂正のしかた）

ここでは操作を間違えたときの操作方法について、次の場合に分けて説明します。

スライドスイッチが【登録】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



インジケータ点灯無し

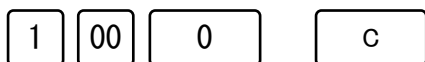
金額や個数の押し間違い（部門キー、取引キーを操作する前）

＜例＞ [部門]キー、[取引]キーを押す前であれば、すべて **C** キーで訂正することができます。

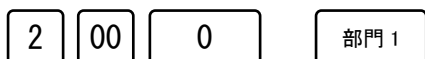
	商品金額	個数	部門	預かり金
①	¥2,000	1	部門 1	④ ¥10,000
②	¥300	5	部門 4	
③	¥400	3	部門 2	

① 金額を間違えた。

1. [C]キーを押す

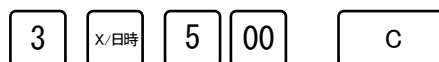


2. 正しい金額を押し直し[部門]キーを押す



③ 乗算（掛け算）で金額を間違えた。

1. [C]キーを押す



2. 正しい金額を押し直し[部門]キーを押す

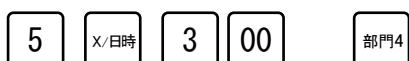


② 数量を間違え、[×]キーを押してしまった。

1. [C]キーを押す

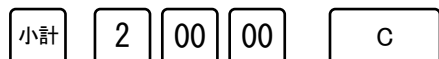


2. 正しい数量を押し直し[部門]キーを押す



④ 預り金を間違えた。

1. [C]キーを押す



2. 正しい預り金を押し直し[現/預]キーを押す



金額や個数の押し間違い（部門キー操作した直後）

[部門]キーを押した直後は、 キーを押すだけで訂正することができます。



訂正操作を行うと、レシートに訂正内容が印字されます。

<例> 下記表の各操作時（①～②）に、操作を間違った場合の訂正手順を説明します。

	商品金額	個数	部門	預かり金
①	¥700	1	部門 1	¥2,000
②	¥300	3	部門 3	

① 金額を間違えて、[部門]キーを押してしまった。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	
2. 商品を売り上げる 	
3. [訂正]キーを押す (金額 700 円を 400 円と押し間違えたため訂正操作)	
4. 正しい金額を押し直し[部門]キーを押す 	

② 乗算（掛け算）で個数を間違えて、[部門]キーを押してしまった。

1. 商品を売り上げる (数量) (金額)	
2. [訂正]キーを押す (個数 3 個を 6 個と押し間違えたため訂正操作)	
3. 正しい個数を押し直し[部門]キーを押す (数量) (金額)	

次ページへ続く

4. [小計]キーを押す	小計	5 1600	部門 01 ① ¥400 内 訂正 部門 01 ¥-400 内 部門 01 ¥700 内
5. 預かり金額を押し、[現/預]キーを押す	2000 現/預 (後出レシート)	400	部門 03 ※ ② ¥1,800 内 6x ¥300 訂正 部門 03 ※ 6x ¥300 ¥-1,800 内 部門 03 ※ 3x ¥300 ¥900 内 小計 ¥1,600 内税 1 対象額 10% ¥700 (内税 1 額 10% ¥64) 内税 2 対象額 8% ¥900 (内税 2 額 8% ¥67) 商品点数 4 合計 ¥1,600 現金 ¥2,000 お釣り ¥400 注) ※印は軽減税率 (8%) 適用商品

[小計]キーを押した後、一部の商品を訂正する

[小計]キーを押した後に、一部の商品のみを訂正することができます。



訂正操作を行うと、レシートに訂正内容が印字されます。

＜例＞ 下記表の各操作時（①～②）に、操作を間違った場合の訂正手順を説明します。

	商品金額	個数	部門	預かり金
①	¥700	1	部門 1	¥2,000
②	¥300	3	部門 3	

① [小計]キーを押した後に、金額の間違いに気が付いた。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	0
2. すべての商品を売り上げ[小計] キーを押す 4 00 部門 1 6 X/日時 3 00 部門3 (数量) (金額) 小計	1 400 3 1800 5 2200
3. [訂正]キーを押したあと、間違えた売り上げを再度操作する 訂正 4 00 部門 1 (金額 700 円を 400 円と押し間違えたため訂正操作)	1 - 400
4. 正しい金額を押し直し[部門]キーを押す 7 00 部門 1	1 700
5. [小計] キーを押す 小計	5 2500

次ページへ続く

② 更に[小計]キーを押した後に、個数の間違いに気が付いた。

1. [訂正]キーを押したあと、間違えた売り上げを再度操作する 訂正 6 X/日時 3 00 部門3 (数量) (金額) (個数3個を6個と押し間違えたため訂正操作)	--1800	部門01 ① ¥400 内 部門03 ※ 6x ¥300 ¥1,800 内 小計 ¥2,200 訂正 部門01 ¥-400 内 部門01 ¥700 内 小計 ¥2,500
2. 正しい個数押し直し[部門]キーを押す 3 X/日時 3 00 部門3 (数量) (金額)	3900	訂正 ② 部門03 ※ 6x ¥300 ¥-1,800 内 部門03 ※ 3x ¥300 ¥900 内
3. [小計]キーを押す 小計	51600	小計 ¥1,600 内税1対象額 10% ¥700 (内税1額 10% ¥64) 内税2対象額 8% ¥900 (内税2額 8% ¥67)
4. 預かり金額を押し、[現/預]キーを押す 2 00 0 現/預 (後出レシート)	[400	商品点数 4 合計 ¥1,600 現金 ¥2,000 お釣り ¥400 注) ※印は軽減税率(8%)適用商品

登録操作中すべての商品をやり直す（取り消す）

売り上げ登録操作を最初からやり直す場合は、[一括取消]キーを押すことで取り消しが可能です。



- [部門]キー、[小計]キーどちらかのキーの後に、[一括取消]キーを押しても動作します。
- 一括取消を行った場合、レシートに『*** 一括取消 ***』と印字します。
但し、レシート停止時には、印字はされません。
- 一括取消が可能な登録行数は最大100行までとなります。
100行を超えた場合は、取引キーで一旦取引を完了させ、『登録が完了した後の訂正（レシート訂正） 36ページ』を参考にレシート訂正を操作してください。
- 複合取引中（1取引中に現金、Ⅱ計、信計の締め操作を複数回行う）の一括取消はできません。取引キーで一旦取引を完了させ、『登録が完了した後の訂正（レシート訂正） 36ページ』を参考にレシート訂正を操作してください。

＜例＞ 下記表の登録操作中に、一括取り消し処理を行う場合

商品金額	個数	部門	預かり金
¥700	1	部門 3	なし
¥300	3	部門 1	

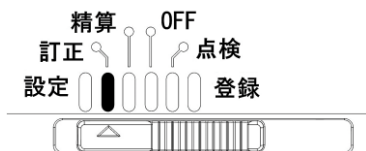
1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 商品を売り上げる 7 00 部門3 3 X/日時 3 00 部門 1 小計 (数量) (金額)	 	
3. [一括取消]キーを押す 一括取消 (この売り上げ操作をすべて取り消します)		
4. [現/預]キーを押し確定させる 現/預 (後出レシート) ※ 取り消しをキャンセルする場合は C キーを押します。		部門 03 ※ ¥700 内 部門 01 3x ¥300 ¥900 内 小計 ¥1,600 *** 一括取消 ***

登録が完了した後の訂正（レシート訂正）

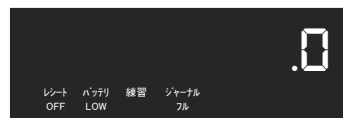
取引（売り上げ）が完了した（レシートの発行を終えた）あとで、誤登録に気が付きその取引を取り消したときは、スライドスイッチを【訂正】モードに切り替えて訂正処理を行います。

スライドスイッチが【訂正】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右から2つ目点滅



- インボイス制度における返品レシート（適格返還請求書）には、インボイスのレシート発行要件に加え「返還の基となる取引を行った年月日」の印字が必要となります。
- 本レジでは、#機能によるメモ印字の活用を推奨しております。
例）2027年1月1日に売り上げたレシートを訂正する場合
20270101 [#/両替]
- 1取引内で、対象商品の返品と打ち直しは、推奨しておりません。

＜例＞ 下記表の取引完了後に、取引の取り消し処理を行う場合

商品金額	個数	部門	預かり金
¥700	1	部門 3	¥2,000
¥300	3	部門 1	

＜訂正したい元のレシート＞

★ 2027年01月01日	
部門 03 ※	¥700 内
部門 01	
3x ¥300	¥900 内

小計	¥1,600
内税 1 対象額 10%	¥900
(内税 1 額 10%)	¥82)
内税 2 対象額 8%	¥700
(内税 2 額 8%)	¥52)

商品点数	4

合計	¥1,600
現金	¥2,000
お釣り	¥400

次ページへ続く

1. スライドスイッチを【訂正】に合わせる
※ 【訂正】インジケータが点滅する

.0

2. 「訂正したいレシート」の日付を押す
(「訂正したいレシート」★印の日付を押す)

2

0

2

7

(年)

0

1

0

1

(月)

(日)

20270101

3. [# / 両替]キーを押す

/ 両替

※ [# / 両替]キー操作後に「訂正したいレシート」の日付入力の間違えに気が付いた場合、再度 2. から操作してください。
あとから入力した「訂正したいレシート」の日付が有効になります。

20270101

4. 「訂正したいレシート」を元に売り上げ操作をする

7

00

部門3

3

X / 日時

3

00

部門1

(数量)

(金額)

小計

2

00

0

現 / 預
(後出レシート)

3

700

1

900

5

1600

[

400

<訂正レシート>

レシート訂正

2027年01月02日

20270101 #

部門03 ※

¥700 内

部門01

3x ¥300

¥900 内

小計

¥1,600

内税1対象額 10%

¥900

(内税1額 10%)

¥82

内税2対象額 8%

¥700

(内税2額 8%)

¥52

商品点数

4

合計

¥1,600

現金

¥2,000

お釣り

¥400

!

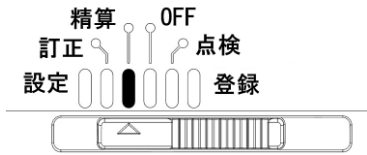
レシート訂正が終わりましたら、スライドスイッチを【登録】へ戻してください。

閉店後の操作（1日の売り上げレポートを発行する）

1日の営業終了後に日計レポートを発行するときには、【精算】モードに切り替えて 現/預
(後出レシート) キーを押します。

スライドスイッチが【精算】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右から3、4つ目点灯

＜操作方法＞

現/預
(後出レシート)



インボイス対応のときは、インボイス交付の写しが必要となります。必ず電子ジャーナルを印字し保管してください。
『電子ジャーナルレポートの発行/消去のしかた 64ページ』参照。

＜レポート発行例＞

レポートタイトル
(X1: 点検日計レポート、Z1: 精算日計レポート)

Z1	0006	Z1 カウンタ
部門 01	16	部門別売上個数
	¥17,530 内	部門別売上金額
部門 02	21	
	¥6,900 内	
部門 03	20	
	¥20,600 内	
部門 04	5	
	¥1,500 非	
部門売上合計	¥46,530	部門別売上合計
内税 1 対象額 10%	¥23,971	内税 1 対象額
内税 1 額 10%	¥2,180	内税 1 額
内税 1 抜額 10%	¥21,791	内税 1 税抜き額
内税 2 対象額 8%	¥20,373	内税 2 対象額
内税 2 額 8%	¥1,510	内税 2 額
内税 2 抜額 8%	¥18,863	内税 2 税抜き額
非課税額	¥1,500	非課税額
税込合計	¥45,844	税込額合計
税額合計	¥3,690	税額合計
税抜合計	¥42,154	税抜き額合計
アイテム値引合計	¥-100	商品値引き額
小計値引合計	¥-500	小計値引き額
アイテム割引合計	¥-70	商品引き額
小計割引合計	¥-186	小計引き額
純売上合計	¥45,844	純売上げ
訂正合計	¥-6,000	訂正額
一括取消合計	1	一括取消回数
	¥1,600	一括取消合計額
総売上合計	¥46,530	総売上げ



- 【精算】モードにてレポート発行後、売り上げデータは自動的に消去されます。
同時に『期間累計レポート』に売り上げが加算されます。
- 【精算】モードにて発行された日計レポートのみ電子ジャーナルに記憶されます。

現金合計	13	現金売り回数
	¥39,844	現金売り金額
II 計合計	3	II 計売り回数
	¥2,900	II 計売り金額
信計合計	3	信計売り回数
	¥3,100	信計売り金額
入金合計	1	入金回数
	¥8,000	入金額
出金合計	1	出金回数
	¥150,000	出金額
両替	0001	両替回数
現金在高	¥-102,156	現金在高
II 計在高	¥2,900	II 計在高
信計在高	¥3,100	信計在高

便利な使いかた

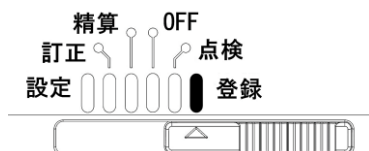
本項での説明や印字例は、工場出荷時の初期設定のままで売り上げ操作をした場合の例となります。
課税方式や税率が異なる場合、操作方法是変わりませんが、印字内容は異なりますのでご注意ください。

＜初期設定＞

部門	税率	課税方式	まるめ
部門1	10%	内税	四捨五入
部門2	10%	内税	四捨五入
部門3	8%	内税(軽減税率)	四捨五入
部門4	0%	非課税	—
値引き	—	課税	—
割引き	—	課税	—

商品の売上登録を行うときは、スライドスイッチが【登録】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



インジケータ点灯無し

値引のしかた

商品の値引きや、合計金額からの値引きを行うときは、値引 キーを使います。

値引きには2種類あります。

- ① アイテム値引： 商品より直接値引きを行います。
- ② 合計値引： 合計金額(小計額)より値引きを行います。



- [値引]キーには、あらかじめ値引きする金額を設定することが可能です。
値引き金額が設定されている場合は、[値引]キーを押す前に値引き金額を入力する必要はありません。
- [値引]キーへの、値引き金額設定は、『値引き額の設定 87ページ』をご参照ください。

＜例＞ 下記表の各操作時（①～②）に、値引きを行う場合の操作手順を説明します。

	商品金額	個数	部門	値引き額	預かり金
	¥300	1	部門 3	無	¥1,000
①	¥700	1	部門 1	¥100	②小計より¥500 値引き

次ページへ続く

① アイテム値引（部門1より¥100の値引き）を行う。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	
2. 商品を売り上げる 3 00 部門3 7 00 部門1	
3. 値引きする商品を売り上げた直後に、値引き操作する 値引き金額と[値引]キーを押す 1 00 値引 ※ アイテム値引は、値引きする商品を売り上げた直後に値引き操作をします。 ※ 値引きする商品と値引き操作との間に、[C](クリア)キーなど[値引]キー以外の操作を行うとアイテム値引ができなくなります。ご注意ください。	

② 合計値引（小計金額より¥500の値引き）を行う。

1. [小計]キーを押す 小計																				
2. 値引き金額と[値引]キーを押す 5 00 値引 ※ 合計値引は、小計直後に値引き操作をします。 ※ 小計と値引き操作との間に、[C](クリア)キーなど[値引]キー以外の操作を行うと合計値引ができなくなります。ご注意ください。		<table border="1"> <tr> <td>部門 03 ※</td> <td>¥300 内</td> </tr> <tr> <td>部門 01 ①</td> <td>¥700 内</td> </tr> <tr> <td>値引</td> <td>¥-100</td> </tr> </table>	部門 03 ※	¥300 内	部門 01 ①	¥700 内	値引	¥-100												
部門 03 ※	¥300 内																			
部門 01 ①	¥700 内																			
値引	¥-100																			
3. 取引の完了操作をする 小計 1 00 0 現/預 (後出レシート)	 	<table border="1"> <tr> <td>小計</td> <td>¥400</td> </tr> <tr> <td>内税 1 対象額 10%</td> <td>¥267</td> </tr> <tr> <td>(内税 1 額 10%)</td> <td>¥24)</td> </tr> <tr> <td>内税 2 対象額 8%</td> <td>¥133</td> </tr> <tr> <td>(内税 2 額 8%)</td> <td>¥10)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>商品点数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>¥400</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>¥1,000</td> </tr> <tr> <td>お釣り</td> <td>¥600</td> </tr> </table> 注) ※印は軽減税率(8%)適用商品	小計	¥400	内税 1 対象額 10%	¥267	(内税 1 額 10%)	¥24)	内税 2 対象額 8%	¥133	(内税 2 額 8%)	¥10)	商品点数	2	合計	¥400	現金	¥1,000	お釣り	¥600
小計	¥400																			
内税 1 対象額 10%	¥267																			
(内税 1 額 10%)	¥24)																			
内税 2 対象額 8%	¥133																			
(内税 2 額 8%)	¥10)																			
商品点数	2																			
合計	¥400																			
現金	¥1,000																			
お釣り	¥600																			



1取引内で、税が異なる商品の訂正と売り上げが混在した場合、合計値引はできません。訂正と売り上げとを分けて登録してください。

割引き/割増しのしかた

商品の割引き/割増しや、合計金額からの割引き/割増しを行うときは、% キーを使います。

割引き/割増しには2種類あります。

- ① アイテム割引/割増： 商品より直接割引き/割増しを行います。
- ② 合計割引/割増： 合計金額(小計額)より割引き/割増しを行います。



- [%]キーは「割引き」か「割増し」いずれか一方のみとなります。
- 初期設定では、[%]キーは割引きとして設定されています。[%]キーを割増しとして使用する場合は、『割引き/割増し率の設定 86ページ』をご参照ください。登録操作方法は割引きと同様になります。
- [%]キーには、あらかじめ割引き/割増し率を設定することが可能です。割引き/割増し率が設定されている場合は、[%]キーを押す前に割引き/割増し率を入力する必要はありません。
- [%]キーへの、機能の設定や割引き/割増し率設定は、『割引き/割増し率の設定 86ページ』をご参照ください。

<例> 下記表の各操作時(①~②)に、割引きを行う場合の操作手順を説明します。

	商品金額	個数	部門	割引率	預かり金
	¥300	1	部門 3	無	¥1,000
①	¥700	1	部門 1	10%	②小計より 20%割引き

① アイテム割引(部門 1 より 10%の割引き)を行う。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	0
2. 商品売り上げる	
3 00 部門3 7 00 部門 1	3 300 1 700

次ページへ続く

3. 割引きする商品を売り上げた直後に、割引き操作する 割引き率と[%]キーを押す 1 0 % ※ アイテム割引は、割引きする商品を売り上げた直後に割引き操作をします。 ※ 割引きする商品と割引き操作との間に、[C](クリア)キーなど[%]キー以外の操作を行うとアイテム割引ができなくなります。ご注意ください。	-- 70
---	---

② 合計割引（小計金額より 20%割引き）を行う。

1. [小計]キーを押す 小計	5 930
2. 割引き率と[%]キーを押す 2 0 % ※ 合計割引は、小計直後に割引き操作をします。 ※ 小計と割引き操作との間に、[C](クリア)キーなど[%]キー以外の操作を行うと合計割引ができなくなります。ご注意ください。	-- 186
3. 取引の完了操作をする 小計 1 00 0 現/預 (後出レシート)	5 744 C 256

部門 03 ※		¥300 内
部門 01	①	¥700 内
割引 10%		¥-70
小計	②	¥930
割引 20%		¥-186
小計		¥744
内税 1 対象額 10%		¥504
(内税 1 額 10%)		¥46)
内税 2 対象額 8%		¥240
(内税 2 額 8%)		¥18)
商品点数		2
合計		¥744
現金		¥1,000
お釣り		¥256
注) ※印は軽減税率(8%)適用商品		



1 取引内で、税が異なる商品の訂正と売り上げが混在した場合、合計割引はできません。訂正と売り上げとを分けて登録してください。

商品券や金券でお支払い

お支払いが商品券や金券のときは、Ⅱ計 キーを使います。



- お釣りがでない[Ⅱ計]キーの運用はできません。[Ⅱ計]キーのお釣りは現金在高からマイナスされます。
- 現金と併用して商品券で支払いを行う場合は、先に商品券で支払う金額を入力して[Ⅱ計]キーを操作した後に、現金で支払う金額を入力して[現/預]キーを操作してください。
- 現金、または商品券などと併用してキャッシュレス決済を行う場合は、[現/預]キーまたは[Ⅱ計]キー(商品券)で操作した最後に[信計]キー(キャッシュレス決済)を操作してください。

<例>

商品金額	個数	部門	お支払い
¥1,200	1	部門 1	全額商品券

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	0
2. 商品を売り上げる 1 2 00 部門 1	1 1200
3. [小計]キーを押す 小計	5 1200
4. [Ⅱ計]キーを押す Ⅱ計 ※ 合計の一部を金券で支払う場合、金券金額を押し[Ⅱ計]キーを押す。	= 1200

部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合計	¥1,200
Ⅱ計	¥1,200

クレジット、電子マネー、コード決済でお支払い

お支払いがキャッシュレスのときは、信計 キーを使います。

決済端末を連動していない場合



- お釣りがでない[信計]キーの運用はできません。[信計]キーのお釣りは現金在高からマイナスされます。
- 『決済端末連動しない』と設定してご使用の場合、5000 [現/預]や 5000 [Ⅱ計]の預かり操作と同じように、取引額を操作してから[信計]キーの操作もできます。

例) 5 00 信計

<例>

商品金額	個数	部門	支払い
¥1,200	1	部門 1	信計売り

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	0
2. 商品を売り上げる 1 2 00 部門 1	1 1200
3. [小計]キーを押す 小計	5 1200
4. [信計]キーを押す 信計	= 1200

部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合計	¥1,200
信計	¥1,200

決済端末を連動してお支払い



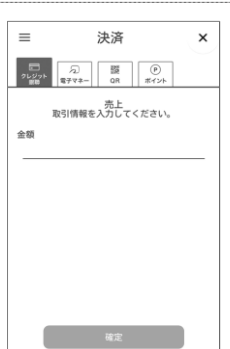
- 決済端末と連動してご使用の場合、設定が必要です。『決済端末について 103 ページ』をご参照ください。
 - 『決済端末連動する』と設定してご使用されている場合、全額キャッシュレス決済[信計]キーとなります。
- 例) 信計 (5 00 信計) のように取引額を操作してから[信計]キー操作はできません。)
- 複数のキャッシュレスでお支払い(例:「コード決済」と「クレジットカード」でお支払い等)はできません。
 - 現金、または商品券などと併用してキャッシュレス決済を行う場合は、[現/預]キーまたは[Ⅱ計]キー(商品券)で操作した最後に、[信計]キー(キャッシュレス決済)を操作してください。
 - 電子マネー決済時に残高不足エラーが発生した場合、[現金併用]を選択してのお支払いは対応しておりません。[現金併用]を選択してしまうと、本レジは全額電子マネーで決済された処理を行います。
残高不足エラーが発生した場合は、[リセット]を選択し、全額を現金、または別の決済手段を選択してください。
詳しくは『決済端末(sterminal standard)側の設定 104ページ』をご参照ください。

◆ 全額キャッシュレス決済でお支払い

<例>

商品金額	個数	部門	支払い
¥1,200	1	部門 1	全額信計売り

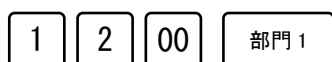
1. 決済端末機を「決済初期画面」で待機する



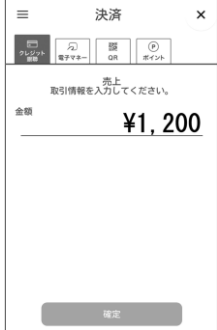
2. 本レジのスライドスイッチを【登録】に合わせる



3. 商品を売り上げる



次ページへ続く

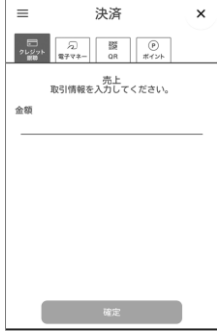
4. [小計]キーを押す 	
5. [信計]キーを押す  ※ 決済端末と通信を開始します	
 決済端末と通信が開始されると、本レジは“*WAIT”と表示されます。この表示中は本レジを操作しないでください。	
6. 決済端末の表示が右図のように切り替わります 以降、決済端末の表示に従い操作してください	
7. 決済端末の決済処理が完了すると、本レジの表示が右図のように切り替わり、レシートが発行されます 以上で、取り引きは完了です	

部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合計	¥1,200
信計	¥1,200

◆ 商品券や現金と併用してキャッシュレス決済でお支払い

<例>

商品金額	個数	部門	支払い
¥1,200	1	部門 1	500 円 II 計 残金信計売り

1. 決済端末機を「決済初期画面」で待機する	
-------------------------------	--

次ページに続く

2. スライドスイッチを【登録】に合わせる																	
3. 商品売り上げる 																	
4. [小計]キーを押す 																	
5. 金券の金額を押し、[Ⅱ計]キーを押す 																	
6. [信計]キーを押す ※ 決済端末と通信を開始します。																	
決済端末と通信が開始されると、本レジは“*WAIT”と表示されます。この表示中は本レジを操作しないでください。																	
7. 決済端末の表示が右図のように切り替わります。 以降、決済端末の表示に従い操作してください。																	
8. 決済端末の決済処理が完了すると、本レジの表示が右図のように切り替わり、レシートが発行されます 以上で、取り引きは完了です。	 <table> <tr> <td>部門 01</td> <td>¥1,200 内</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>¥1,200</td> </tr> <tr> <td>内税 1 対象額 10%</td> <td>¥1,200</td> </tr> <tr> <td>(内税 1 額 10%)</td> <td>¥109</td> </tr> <tr> <td>商品点数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>¥1,200</td> </tr> <tr> <td>Ⅱ計</td> <td>¥500</td> </tr> <tr> <td>信計</td> <td>¥700</td> </tr> </table>	部門 01	¥1,200 内	小計	¥1,200	内税 1 対象額 10%	¥1,200	(内税 1 額 10%)	¥109	商品点数	1	合計	¥1,200	Ⅱ計	¥500	信計	¥700
部門 01	¥1,200 内																
小計	¥1,200																
内税 1 対象額 10%	¥1,200																
(内税 1 額 10%)	¥109																
商品点数	1																
合計	¥1,200																
Ⅱ計	¥500																
信計	¥700																

一時的に決済端末の連動を止める場合

本レジと連動せずキャッシュレス決済するときや、決済端末が故障したときなど、連動を一時的に止める時は、[信計]キーの前に、[X/日時]キーを操作します。（X/日時 信計 と操作します。）

<例>

商品金額	個数	部門	支払い
¥1,200	1	部門 1	決済端末と連動せず 信計

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	0
2. 商品を売り上げる 1 2 00 部門 1	1 1200
3. [小計]キーを押す 小計	5 1200
4. [X/日時]キーを押す X/日時 ※ 決済端末と一時的に連動させない場合に操作する	5 1200
5. [信計]キーを押す 信計 ※ 決済端末と連動せず取引が終了する	= 1200

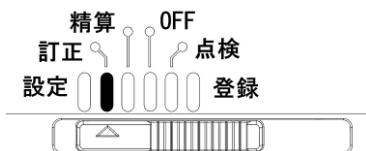
部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合計	¥1,200
信計	¥1,200

決済端末を連動したお支払いを訂正

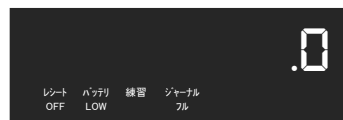
決済端末を連動したお支払いを訂正する場合、本レジの【訂正】モードで行います。

スライドスイッチが【訂正】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右から2つ目点滅



- 訂正可能なキャッシュレス決済は、種類、ブランドによって異なります。ご契約された決済サービス提供会社へご確認ください。
- 訂正できないキャッシュレス決済の返金は、非連動での個別処理または現金で行っていただくこととなります。ご了承ください。
- 決済端末連動したお支払いを訂正する場合、売り上げの時に発行された、「レシート」と、決済端末より発行された「取引伝票」と支払い時に使用したクレジットカード等が必要になります。

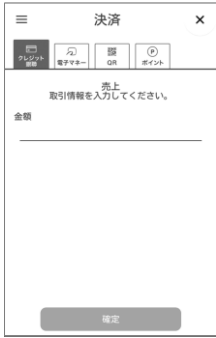
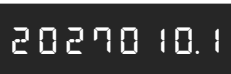
＜例＞ 下記表の取引完了後に、取引の取り消し処理を行う場合

商品金額	個数	部門	支払い
¥1,200	1	部門 1	全額信計売り

＜訂正したい元のレシート＞

2027 年 01 月 01 日	
部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合計	¥1,200
信計	¥1,200

次ページへ続く

1. 決済端末機を「決済初期画面」で待機する	
2. スライドスイッチを【訂正】に合わせる ※ 【訂正】インジケータが点滅する	
3. 「訂正したいレシート」の日付を押す (「訂正したいレシート」★印の日付を押す) 2 0 2 7 (年) 0 1 0 1 (月) (日)	
4. [# / 両替] キーを押す # / 両替 ※ メモ番号入力を連続で行った場合、最後に入力した置数が有効となります。	
5. 「訂正したいレシート」を元に売り上げ操作をする 1 2 00 部門 1 小計 信計 ※ 決済端末と通信を開始します。	
 決済端末と通信が開始されると、本レジは“*WAIT”と表示されます。この表示中は本レジを操作しないでください。	

次ページへ続く

- 6.** 決済端末の表示が右図のように切り替わります。
以降、決済端末の表示に従い操作してください。

- 7.** 決済端末の決済処理が完了すると、本レジの表示が右図のように切り替わり、レシートが発行されます

二 1200

以上で、訂正取り引きは完了です。

<訂正レシート>

—— レシート訂正 ——

2027 年 01 月 02 日

20270101 #

部門 01 ￥1,200 内

小計 ￥1,200
内税 1 対象額 10% ￥1,200
(内税 1 額 10% ￥109)

商品点数 1

合計 ￥1,200
信計 ￥1,200

売上に関係ない現金をドロアに入れる（入金）

つり銭用の小銭や、貸し売り代金の受け取り等、売り上げではない現金をドロアに入れる場合は、

入金 キーを使用します。



この入金操作を行うことにより、売上レポートに入金回数と金額がカウントされます

<例> つり銭用として、¥8,000 をドロアに入れる。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 入金する金額を押し、[入金]キーを押す 8 0 00 入金		
3. ドロアが開いたら、お金を入れる		2027 年 01 月 01 日 入金 午後 02 時 28 分 ¥8,000 0001#000164

売上に関係ない現金をドロアから出す（出金）

ドロアの現金がいっぱいになったときなど、売り上げではない現金をドロアから取り出す場合は、

出金 キーを使用します。



この出金操作を行うことにより、売上レポートに出金回数と金額がカウントされます

<例> ¥15,000 を金庫に移すため、現金を取り出す。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. 出金する金額を押し、[出金]キーを押す 1 5 0 00 出金		
3. ドロアが開いたら、お金を取り出す		2027 年 01 月 01 日 出金 午後 02 時 29 分 ¥15,000 0001#000165

レシートに任意の数字を印字する

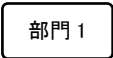
レシート訂正時に訂正したいレシートの日付を入力したり、売上に関係しない数字（会員番号、カルテ番号等）をメモとして印字するときに、 キーを使用します。



- 最大14桁の数字を入力することができます。
- メモ番号入力を連続で行った場合、最後に入力した置数が有効になります。
- 入力直後は印字されず、部門売りや入金明細の1行上へ支払時に合わせて印字されます。
- メモ番号は、明細の下に印字されます。
またメモ印字の最後尾に『 # 』の文字が必ず印字されます。

＜例＞ 商品券で支払う前に 12345678 とメモ番号を入力する。

商品金額	個数	部門	お支払い
¥1,200	1	部門 1	全額商品券

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	
2. 商品を売り上げる    	
3. [小計]キーを押す 	
4. 任意の数字(12345678)を押し[#/両替]キーを押す         	
※ 最大 14 桁の数字入力可能	
5. [Ⅱ計]キーを押す 	
※ 合計の一部を金券で支払う場合、金券金額を押し[Ⅱ計]キーを押す。	

部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合 計	¥ 1,200
	12345678 #
Ⅱ 計	¥ 1,200

ドロアの開けかた、両替のしかた

ドロアを開けるときに、 キーを使用します。



- 売り上げ途中で[#/両替]キーのみを操作することはできません。
- この両替操作を行うことにより、売上レポートに両替回数がカウントされます。

＜例＞ ドロアを開けたい、または両替を行いたい。

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる		
2. [#/両替]キーを押す 		
3. ドロアが開く		2027 年 01 月 01 日 両替 午後 02 時 30 分 0001#000166

レシートの発行／停止のしかた

レシートの発行を停止したり、発行停止を解除したりするときに、 キーを使用します。

レシート発行停止中は、左端の『レシート OFF』インジケータが点灯します。

レシート発行停止が解除されると、左端の『レシートOFF』インジケータは消灯します。

＜インジケータ＞



【登録】モードでレシート停止

- ・ レシート OFF：左端点灯
- ・ 【登録】モード：点灯なし



【訂正】モードでレシート停止

- ・ レシート OFF：左端点灯
- ・ 【訂正】モード：右から2つ目点滅

- スライドスイッチが【登録】、【訂正】の時に操作ができます。
- 売り上げ途中で[レシート ON/OFF]キーを操作することはできません。
- [レシート ON/OFF]キーを押し、インジケータの『レシート OFF』が“点灯”すると、「レシート停止中」になります。
- 再び[レシート ON/OFF]キーを押し、インジケータの『レシート OFF』が“消灯”すると、「レシート停止解除(レシート発行中)」になります。

レシートを再発行する（後出レシート）

売り上げたレシートを再度印字するときや、レシート停止中にレシートを求められたときに、

現/預
(後出レシート)

キーを使用します。



- 1取引のレシート行がおよそ50行を超えた場合、レシートの再発行は合計金額のみとなります。
- レシート発行後、[現/預(後出レシート)]キーを操作するとレシートに“再発行”と印字されます。
- レシート停止中にレシート発行せず、[現/預(後出レシート)]キーを操作した場合は“再発行”は印字されません。

<例> レシート停止中に、レシートを求められた時

商品金額	個数	部門	預かり金
¥1,200	1	部門 1	¥2,000

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる

0

2. 商品を売り上げる

1 2 00 部門 1

1 1200

3. 取引の完了操作をする

小計
2 00 0 現/預
(後出レシート)

5 1200

£ 800

※ レシートが発行されない

4. [現/預(後出レシート)]を押す

現/預
(後出レシート)

※ レシートが発行されたあと、2枚目以降は
“再発行”と印字されます

<レシート>

部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109)
商品点数	1
合計	¥1,200
現金	¥2,000
お釣り	¥800

<後出レシート>

再発行	
部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109)
商品点数	1
合計	¥1,200
現金	¥2,000
お釣り	¥800

登録操作の練習(トレーニング)

本レジに慣れていただくために、トレーニングモードで登録操作(売上時の操作)を練習します。

トレーニングモード中は、左から3つ目の『練習』インジケータが点灯します。
トレーニングモードが解除されると、左から3つ目の『練習』インジケータは消灯します。

<インジケータ>



【登録】モードでトレーニング

- ・トレーニング：左から3つ目点灯
- ・【登録】モード：点灯なし



【訂正】モードでトレーニング

- ・トレーニング：左から3つ目点灯
- ・【訂正】モード：右から2つ目点滅



- トレーニングモードでは、登録操作を行ってもトレーニングレポートに加算し、ほかのレポートには加算しません。
- トレーニングデータの精算とレポートの発行については『トレーニングレポートの発行 63ページ』をご参照ください。

<トレーニングレシート印字例>

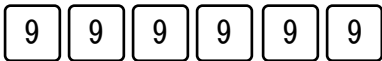
部門 01	¥1,200 内
小計	¥1,200
内税 1 対象額 10%	¥1,200
(内税 1 額 10%)	¥109
商品点数	1
合計	¥1,200
現金	¥2,000
お釣り	¥800
午後01時35分	*****

一連番号(レシート番号)が
“*****”へ置き換わります

トレーニングモードの開始/終了方法は『特定のパスワード』で行う方法と『任意のパスワード』で行う方法の2種類があります。

特定のトレーニングパスワードで開始/終了する

トレーニング開始

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. トレーニングモードの特定パスワードを押す 	
3. [小計]キーを押す 	
4. スライドスイッチを【登録】または【訂正】に合わせる ※ 【練習】のインジケータが点灯したことを確認してください。 ※ 以後、登録操作をします。	登録  訂正 

トレーニング終了

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. トレーニングモードの特定パスワードを押す 	
3. [小計]キーを押す 	
4. スライドスイッチを【登録】または【訂正】に合わせる ※ 【練習】のインジケータが消灯したことを確認してください。	登録  訂正 

任意のトレーニングパスワードで開始/終了する



トレーニングパスワードをあらかじめ設定する必要があります。
『トレーニングモードパスワードの設定 80ページ』をご参照ください。

＜例＞ 任意のトレーニングパスワード(9876)だった場合

トレーニング開始

1. スライドスイッチを【登録】または【訂正】に合わせる ※ 【訂正】の場合【訂正】インジケータが点滅する	登録 0 訂正 .0
2. 設定した「トレーニングモードパスワード」を押す 9 8 7 6	9876
3. [信計]キーを押す 信計 ※ 【練習】のインジケータが点灯したことを確認してください。 ※ 以後、通常売上操作と同じです。	登録 . 0 訂正 .0

トレーニング終了

1. スライドスイッチを【登録】または【訂正】に合わせる ※ 【訂正】の場合【訂正】インジケータが点滅する	登録 . 0 訂正 .0
2. 設定した「トレーニングモードパスワード」を押す 9 8 7 6	9876
3. [信計]キーを押す 信計 ※ 【練習】のインジケータが消灯したことを確認してください。	登録 0 訂正 .0

現在の日付や時刻を表示する

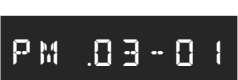
現在日付、現在時刻を表示させたいときに、 キーを使用します。

- スライドスイッチが【登録】、【訂正】の時に操作ができます。
- 売り上げ途中で、[X/日時]キーを操作することはできません。
- [X/日時]キーを1回押すと“日付”、再び[X/日時]キーを押すと“時刻”を表示します。
- 表示内容は、前面、客面共に同じ内容を表示します。



乗算の順序を「金額×個数」と設定した場合、日付や時刻が表示されません。
『システムフラグの設定 96ページ フラグ番号23参照』

<例> 現在日付(2027年1月1日)、現在時刻(15時1分)を表示する

1. スライドスイッチを【登録】に合わせる	
2. [X/日時]キーを押す  ※ 日付を表示します	
3. [X/日時]キーを押す  ※ 時刻を表示します	

各種レポートの発行のしかた

ここでは各種レポートの発行方法について説明します。スライドスイッチが【点検】もしくは【精算】位置にあることを確認してください。

各レポートを発行するときの操作が異なります。目的に応じて使い分けてください。

◆ スライドスイッチの位置（【点検】モードと【精算】モード）

スライド スイッチ位置		インジケータ	内容
点 検			営業時間内（精算より前）で販売状況を確認するときなどに使用します。 レポートを発行しても売り上げデータは消去されません。
精 算			レポートを発行すると次のレポートに備え、 <u>売り上げデータが自動的に消去</u> されます

◆ レポートの種類について

【点検/精算】モードでそれぞれ3種類のレポートが発行できます。

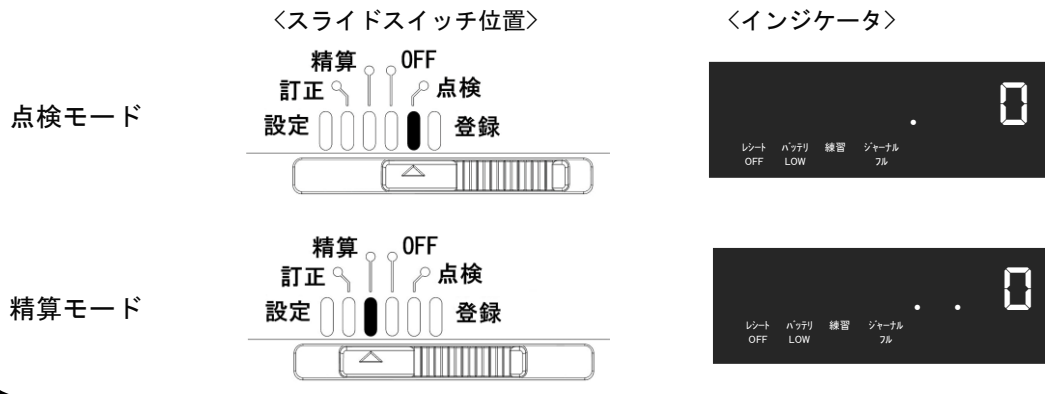
レポート種類	内容	タイトル	
		点検	精算
日計レポート	1日の売上合計 (精算日計レポート後の売上 ~ 日計レポート発行前までの売上合計)	X1	Z1
期間累計レポート	期間の売上合計 (精算日計レポート発行後に、期間累計レポートへ売り上げデータが加算されます。)	X2	Z2
トレーニングレポート	トレーニングの売上合計 (精算トレーニングレポート後のトレーニング売上～トレーニングレポート発行前までのトレーニング売上合計)	X0	Z0

◆ 各レポートの合計項目収支計算式について

合計器	計算式
部門売上合計	= [部門 1~4] の合計 (商品に対する、[値引]、[割引]、[割増]は反映済み)
総売上合計	= [部門売上合計]
純売上合計	= [総売上合計] - [小計割引合計] + [小計割増合計] + [外税額合計] - [まるめ額合計]
現金在高	= [売上(税抜)合計] - [Ⅱ計売合計] - [カード売合計] + [入金合計] - [出金合計]

日計レポートの発行

スライドスイッチが【点検】もしくは【精算】位置にあることを確認してください。



<操作方法>

現/預
(後出レシート)

<レポート発行例>



インボイス対応のときは、インボイス交付の写しが必要となります。精算のときに、必ず電子ジャーナルを印字し保管してください。『電子ジャーナルレポートの発行/消去のしかた 64ページ』参照。

レポートタイトル

(X1: 点検日計レポート、Z1: 精算日計レポート)

X1	0012	Z1 カウンタ
部門 01	16	部門別売上回数
	¥17,530 内	部門別売上金額
部門 02	21	
	¥6,900 内	
部門 03	20	
	¥20,600 内	
部門 04	5	
	¥1,500 非	
部門売上合計	¥46,530	部門別売上合計
内税 1 対象額 10%	¥23,971	内税 1 対象額
内税 1 額 10%	¥2,180	内税 1 額
内税 1 抜額 10%	¥21,791	内税 1 税抜き額
内税 2 対象額 8%	¥20,373	内税 2 対象額
内税 2 額 8%	¥1,510	内税 2 額
内税 2 抜額 8%	¥18,863	内税 2 税抜き額
非課税額	¥1,500	非課税額
税込合計	¥45,844	税額合計
税額合計	¥3,690	税額合計
税抜合計	¥42,154	税抜き合計
アイテム値引合計	¥-100	商品値引き額
小計値引合計	¥-500	小計値引き額
アイテム割引合計	¥-70	商品割引額
小計割引合計	¥-186	小計割引額
純売上合計	¥45,844	純売上げ
訂正合計	¥-6,000	訂正額
一括取消合計	1	一括取消回数
	¥1,600	一括取消合計額
総売上合計	¥46,530	総売上げ

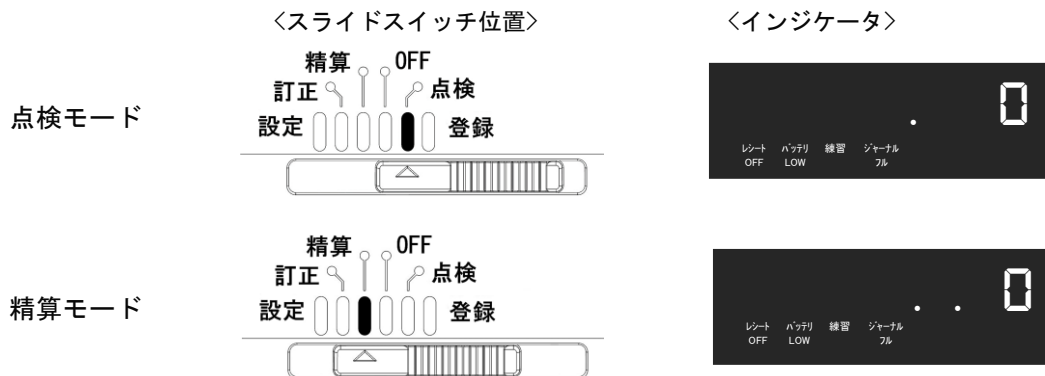


- 【精算】モードにてレポート発行後、売り上げデータは自動的に消去されます。同時に『期間累計レポート』に売り上げが加算されます。
- 【精算】モードにて発行された日計レポートのみ電子ジャーナルに記憶されます。

現金合計	13	現金売り回数
	¥39,844	現金売り金額
II 計合計	3	II 計売り回数
	¥2,900	II 計売り金額
信計合計	3	信計売り回数
	¥3,100	信計売り金額
入金合計	1	入金回数
	¥8,000	入金額
出金合計	1	出金回数
	¥150,000	出金額
両替	0001	両替回数
現金在高	¥-102,156	現金在高
II 計在高	¥2,900	II 計在高
信計在高	¥3,100	信計在高

期間累計レポートの発行

スライドスイッチが【点検】もしくは【精算】位置にあることを確認してください。



＜操作方法＞



＜レポート発行例＞

レポートタイトル
(X2: 点検期間累計レポート、Z2: 精算期間累計レポート)

X2	0012	Z2 カウンタ
部門 01	16	部門別売上個数
	¥17,530 内	部門別売上金額
部門 02	21	
	¥6,900 内	
部門 03	20	
	¥20,600 内	
部門 04	5	
	¥1,500 非	
部門売上合計	¥46,530	部門別売上合計
内税 1 対象額 10%	¥23,971	内税 1 対象額
内税 1 額 10%	¥2,180	内税 1 額
内税 1 抜額 10%	¥21,791	内税 1 税抜き額
内税 2 対象額 8%	¥20,373	内税 2 対象額
内税 2 額 8%	¥1,510	内税 2 額
内税 2 抜額 8%	¥18,863	内税 2 税抜き額
非課税額	¥1,500	非課税額
税込合計	¥45,844	税込合計
税額合計	¥3,690	税額合計
税抜合計	¥42,154	税抜き合計
アイテム値引き合計	¥-100	商品値引き額
小計値引き合計	¥-500	小計値引き額
アイテム割引合計	¥-70	商品割引額
小計割引合計	¥-186	小計割引額
純売上合計	¥45,844	純売上げ
訂正合計	¥-6,000	訂正額
一括取消合計	1	一括取消回数
	¥1,600	一括取消合計額
総売上合計	¥46,530	総売上げ

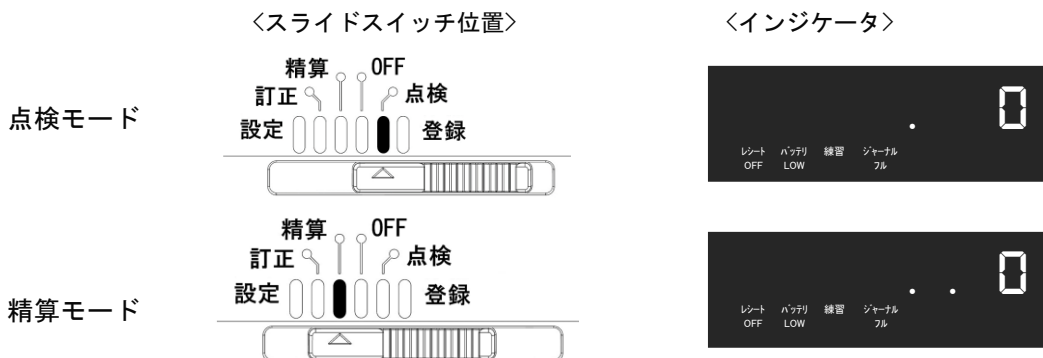


- 精算日計レポートを発行後、期間累計レポートに売り上げデータが加算されます。
- 【精算】モードにてレポート発行後、売り上げデータは自動的に消去されます。
- 電子ジャーナルには記憶されません。

現金合計	13	現金売り回数
	¥39,844	現金売り金額
II 計合計	3	II 計売り回数
	¥2,900	II 計売り金額
信計合計	3	信計売り回数
	¥3,100	信計売り金額
入金合計	1	入金回数
	¥8,000	入金額
出金合計	1	出金回数
	¥150,000	出金額
両替	0001	両替回数
現金在高	¥-102,156	現金在高
II 計在高	¥2,900	II 計在高
信計在高	¥3,100	信計在高

トレーニングレポートの発行

レポート発行を行うときは、トレーニングモードを終了してから、スライドスイッチが【点検】もしくは【精算】位置にあることを確認してください。



＜操作方法＞



＜レポート発行例＞

レポートタイトル
(X0: 点検トレーニングレポート、Z0: 精算トレーニングレポート)

X0	0002	Z1 カウンタ
部門 01	16	部門別売上個数
	¥17,530 内	部門別売上金額
部門 02	21	
	¥6,900 内	
部門 03	20	
	¥20,600 内	
部門 04	5	
	¥1,500 非	
部門売上合計	¥46,530	部門別売上合計
内税 1 対象額 10%	¥23,971	内税 1 対象額
内税 1 額 10%	¥2,180	内税 1 額
内税 1 抜額 10%	¥21,791	内税 1 税抜き額
内税 2 対象額 8%	¥20,373	内税 2 対象額
内税 2 額 8%	¥1,510	内税 2 額
内税 2 抜額 8%	¥18,863	内税 2 税抜き額
非課税額	¥1,500	非課税額
税込合計	¥45,844	税込合計
税額合計	¥3,690	税額合計
税抜合計	¥42,154	税抜き合計
アイテム値引合計	¥-100	商品値引き額
小計値引合計	¥-500	小計値引き額
アイテム割引合計	¥-70	商品割引額
小計割引合計	¥-186	小計割引額
純売上合計	¥45,844	純売上げ
訂正合計	¥-6,000	訂正額
一括取消合計	1	一括取消回数
	¥1,600	一括取消合計額
総売上合計	¥46,530	総売上げ

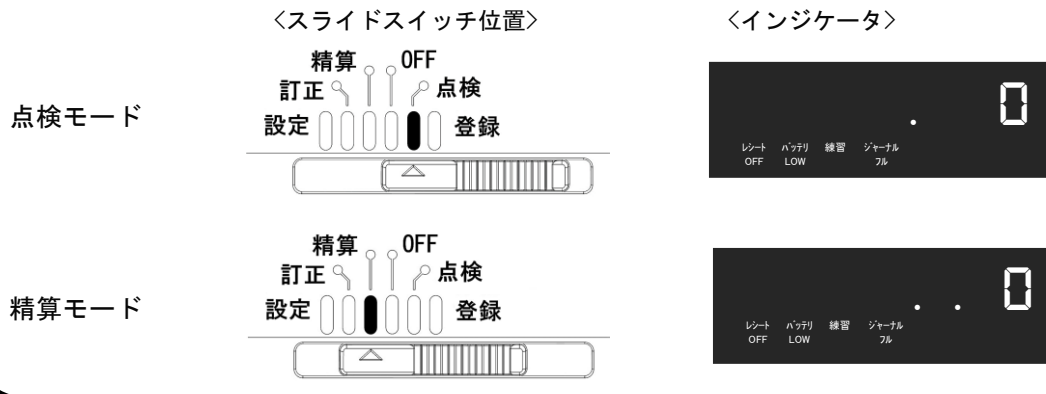


- トレーニングモードを終了し、スライドスイッチを【点検】【精算】に切り替え、トレーニングレポート発行操作をしてください。
- 【精算】モードにてレポート発行後、売り上げデータは自動的に消去されます。

現金合計	13	現金売り回数
	¥39,844	現金売り金額
II 計合計	3	II 計売り回数
	¥2,900	II 計売り金額
信計合計	3	信計売り回数
	¥3,100	信計売り金額
入金合計	1	入金回数
	¥8,000	入金額
出金合計	1	出金回数
	¥150,000	出金額
両替	0001	両替回数
現金在高	¥-102,156	現金在高
II 計在高	¥2,900	II 計在高
信計在高	¥3,100	信計在高

電子ジャーナルレポートの発行/消去のしかた

スライドスイッチが【点検】もしくは【精算】位置にあることを確認してください。



本レジは、【登録】および【訂正】モードで登録されるレシート印字内容を、本体内部で電子的に記録しています。その記録は【精算】モードにて印字される精算レポートの内容とは別の部分に記録保存されており、精算レポートを印字して、売り上げ内容が消去されても個々の売り上げ記録を別に印字させることができます。(記憶されている範囲内であれば、過去の売り上げ内容および精算を発行させることが可能です。)

工場出荷時の初期設定では、電子ジャーナル(EJ)は、最大3,000行分が内部に保存され、それを超えると自動的に古い売り上げ内容から消去される 設定となっております。ご注意ください。

(『システムフラグの設定 96ページより フラグ番号69～71参照』)

また、【精算】モードで電子ジャーナルを発行した場合にのみ、発行終了後表示部は“EJ CLEAR”と表示され、約一秒間警告音が鳴ります。ここで [C] キーを押すと、発行した電子ジャーナル内容は消去されます。([訂正]キーを押した場合は消去されません。)

電子ジャーナル発行途中で一時停止させたい場合は [C] キーを押し、発行を中断させたい場合は [訂正] キーを押します。

発行を中断させた場合、電子ジャーナルに“*****”と印字されます。



インボイス対応のときは、インボイス交付の写しが必要です。必ず電子ジャーナルを印字して保管してください。

<電子ジャーナルレポート種類一覧>

キー	操作内容
3 0 現/預 (後出レシート)	本レジ内部に記憶されている、すべての電子ジャーナルを発行する。
(レポート数(2桁)) 小計	日計レポート単位で発行する。 本レジ内部に記憶されている、最古の日計レポートから指定数の日計レポート間の電子ジャーナルを発行します。 ※ 必ず2桁で指定してください。(01~99)
(取引数(3桁)) 入金	レシート単位で古い取引順に発行する。 本レジ内部に記憶されている、最古の取引から指定取引分の電子ジャーナルを発行する。 ※ 必ず3桁で指定してください。(001~999)
(取引数(3桁)) 出金	レシート単位で新しい取引順に発行する。 本レジ内部に記憶されている、最新取引より指定取引分さかのぼった取引から最新取引までの取引分の電子ジャーナルを発行する。 ※ 必ず3桁で指定してください。(001~999)

<精算モード 電子ジャーナル発行後、“EJ CLEAR”表示中の操作>

キー	操作内容
C	発行した電子ジャーナルは消去される。
訂正	電子ジャーナルは消去されず残る。

<精算モード 電子ジャーナル発行途中の操作>

キー	操作内容
C	電子ジャーナル発行を一時停止する。
訂正	電子ジャーナル発行を中断する。 中断させた場合電子ジャーナルに“*****”と印字される。

<精算モード 電子ジャーナル発行せず電子ジャーナル全消去>

※ 古いジャーナルの自動消去 を「1：禁止」と設定した場合のみ有効
『システムフラグの設定 96 ページより フラグ番号 69 参照』

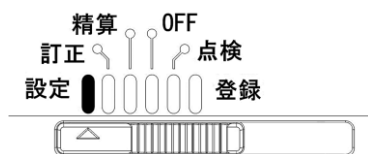
1. スライドスイッチを【精算】に合わせる	
2. [9]キーを2回押し、[現/預]キーを押す 9 9 現/預 (後出レシート) ※ 「ピーッ」と音が鳴る	
3. [C]キーを押す C	

電子ジャーナル消去	Z
電子ジャーナル使用行数	0
電子ジャーナル残り行数	3000

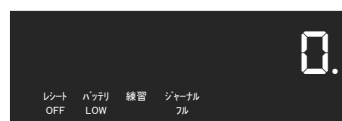
設定のしかた

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

<スライドスイッチ位置>



<インジケータ>



右端点灯



設定項目により、設定した時に内容をレシートへ印字する場合があります。スライドスイッチを切り替えたあと、設定レシートを切ってからご使用ください。

設定操作/表示の一覧

<各種設定の一覧>

値引 (各種設定)	キー操作 回数	表示	内容
→	1	TIME .	時刻の設定
	2	DATE .	日付の設定
	3	TEL NO .	電話番号の設定
	4	HEAD TXT.	ヘッダーメッセージの設定
	5	FOOT TXT.	フッターメッセージの設定
	6	TAX RATE 1.	税率 1 の設定
	7	TAX RATE 2.	税率 2 の設定
	8	TAX RATE 3.	税率 3 の設定
	9	TAX RATE 4.	税率 4 の設定
	10	STMP PRC.	領収書収入印紙欄金額の設定
	11	SYS FLAG.	システムフラグの設定
	12	SD FORM .	SD カードフォーマット (初期化)

※ 13 回押すと “TIME” 時刻の設定へ戻ります。

<部門等の設定一覧>

#/両替 (部門等)	キー操作 回数	表示	内容
→	1	DPT PRC.	部門の金額設定
	2	DPT NAME.	部門の名称設定
	3	DPT STAT.	部門の税属性設定 (各部門の内税、外税、非課税を設定)
	4	DPT TX N.	部門の税率選択
	5	% RATE.	割引き/割増し率の設定
	6	[~]VALUE.	値引金額の設定

※ 7 回押すと “DPT PRC” 部門の金額設定へ戻ります。

<税率予約の設定一覧>

Ⅱ 計 (税率予約)	キー操作 回数	表示	内容
→	1	CG RATE 1.	自動変更税率 1 の設定
	2	CG DATE 1.	税率 1 変更日の設定
	3	CG RATE 2.	自動変更税率 2 の設定
	4	CG DATE 2.	税率 2 変更日の設定
	5	CG RATE 3.	自動変更税率 3 の設定
	6	CG DATE 3.	税率 3 変更日の設定
	7	CG RATE 4.	自動変更税率 4 の設定
	8	CG DATE 4.	税率 4 変更日の設定

※ 9 回押すと “CG RATE 1” 自動変更税率 1 の設定へ戻ります。

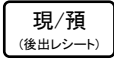
日付の設定

日付の設定方法を説明します。



- 年は、西暦年の下2桁を入力します。(2027年 ⇒ 27)。
- 月と日は、必ず2桁ずつ入力します。(1～9 ⇒ 01～09)。

＜例＞ 2027 年 7 月 8 日に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを 2 回押す  	
3. 設定する日付を西暦年(下 2 桁)、月(2 桁) 日(2 桁)の順に押す     西暦年(下 2 桁) 月(2 桁)   日(2 桁)	
4. [現/預]キーを押す 	

日付 2027 年07月 08日

時刻の設定

時刻の設定方法を説明します。



- 24時間制で入力します。(例：午後2時の場合14時と入力します)
- 時と分は、必ず2桁ずつ入力します。(1～9 ⇒ 01～09)。

＜例＞ 午後 2 時 5 分 (14 時 5 分) に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [値引]キーを 1 回押す 		
3. 設定する日付を時 (2 桁)、分 (2 桁) の順に押す 時 (2 桁) 分 (2 桁)		
4. [現/預]キーを押す 		時刻 午後 02 時 05 分

一連番号の設定

一連番号 (レシート番号) の設定方法を説明します。

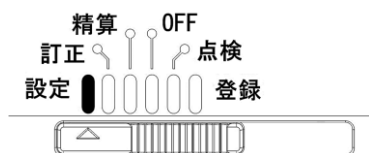
＜例＞ 123456 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [1]キーを 6 回押し、[小計]キーを押す 		
3. 設定する一連番号 (6 桁) を押す 		
4. [現/預]キーを押す 		(印字無し)

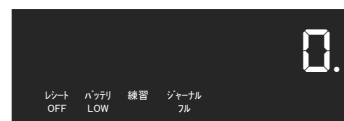
部門の設定

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

部門キーへの単価設定

各部門に単価を設定することができます。

＜例＞

設定したい部門	設定する単価
部門 1	300 円
部門 3	298 円

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [# / 両替] キーを 1 回押す 	
3. 設定する部門単価 (0～9999999) を押す (部門 1 の単価)	
4. 単価を設定する [部門 1～4] キーを押す 	
5. 設定する部門の単価 (0～9999999) を押す (部門 3 の単価)	
6. 単価を設定する [部門 1～4] キーを押す 	

部門 01	300 内
部門 03	298 内

部門キーへの名称設定

各部門キーに設定する名称を選択することができます。

部門名称は、＜名称表＞より選択、または、任意の文字入力『カナ／ＡＢＣ入力方法について 119ページ参照』を設定します。

＜名称表＞

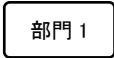
名称番号	名称	名称番号	名称	名称番号	名称
1	部門_n(初期値)	41	書籍	81	レンタル料
2	食料品	42	雑誌	82	登録料
3	飲料	43	新聞	83	設置料
4	生鮮	44	事務用品	84	通信費
5	精肉	45	文具	85	委託料
6	鮮魚	46	理容・美容	86	一般
7	お惣菜	47	着付け	87	クリーニング
8	お米	48	カット	88	お直し
9	果物	49	パーマ	89	D P E
10	野菜	50	シャンプー	90	宿泊
11	菓子	51	メイク	91	交通費
12	パン	52	セット	92	住居
13	弁当	53	トリミング	93	ライフライン
14	お食事	54	医療費	94	レジャー
15	お飲み物	55	治療費	95	教育
16	喫茶	56	保険外	96	保険等
17	テイクアウト	57	保険調剤	97	おもちゃ
18	アルコール	58	薬代	98	防災用品
19	フード	59	介護用品	99	容器代
20	ドリンク	60	医薬品	100	箱代
21	ソフトドリンク	61	衛生用品	101	レジ袋
22	たばこ	62	化粧品	102	ゴミ袋
23	衣料品	63	外用薬	103	印紙
24	装飾品	64	内服薬	104	非課税品
25	アクセサリ	65	漢方薬	105	切手
26	履物	66	健康食品	106	入湯税
27	小物	67	商品券	107	地方税
28	物品販売	68	クーポン	108	消耗品
29	家庭用品	69	プリペイドカード	109	外食
30	日用品	70	受講料	110	娯楽・文化
31	レンタル用品	71	相談料	111	お通し
32	家具	72	手数料	112	席料
33	家電製品	73	送料	113	その他
34	楽器	74	利用料	999	カナ/アルファベット入力 『カナ／ＡＢＣ入力方法について 119 ページ参照』
35	D I Y 用品	75	入場料		
36	園芸用品	76	技術料		
37	種苗	77	サービス料		
38	作業用品	78	工賃		
39	雑貨	79	延長料		
40	お花	80	延滞料金		



インボイス対応では売り上げた内容を具体的に示す必要があります。必ず[部門]キーに名称を設定してください。

<例>

設定したい部門	設定する名称
部門 1	名称番号 18 アルコール
部門 3	名称番号 2 食料品

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [# / 両替] キーを 2 回押す  	
3. 設定する部門名称番号 (0~999) を押す   (部門 1 の名称番号)	
4. 名称を設定する [部門 1~4] キーを押す 	
5. 設定する部門名称番号 (0~999) を押す  (部門 3 の名称番号)	
6. 名称を設定する [部門 1~4] キーを押す 	

部門 01 アルコール
部門 03 食料品

部門キーへの税属性(課税方式)設定

部門毎の課税属性(非課税、内税、外税)を設定します。工場出荷の初期設定では『内税方式(税込)』に設定されています。

- * 工場出荷の初期設定内容については『初期設定について 14 ページ』をご参照ください。
- * 課税方式について詳しくは『課税方式について 13 ページ』をご参照ください。



インボイス(適格請求書)としてレシートを発行するときは、内税、外税のどちらかに統一して使って頂く必要があります。

(インボイスでは税率ごとの消費税額等1円未満の端数処理が1回と定められています)
また、総額表示やたばこの登録(必ず内税)などを考慮すると内税で使用することを推奨します。

免税事業者の方は税率を0%、もしくは税額を印字しない設定にすることを推奨します。
『免税事業者の場合 95ページ参照』

<税属性表>

税属性番号	税属性
0	非課税
1	内税
2	外税

<例>

設定したい部門	設定する税属性
部門 1	税属性番号 2 外税
部門 2	税属性番号 2 外税
部門 3	税属性番号 2 外税

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [# / 両替] キーを 3 回押す 	
3. 設定する部門の税属性番号(0~2)を押す (部門 1 の税属性)	
4. 税属性を設定する[部門 1~4] キーを押す 	

次ページへ続く

5. 設定する部門の税属性番号 (0~2) を押す 2 (部門 2 の税属性)	2.	
6. 税属性を設定する[部門 1~4] キーを押す 部門 2	DPT STAT.	
7. 設定する部門の税属性番号 (0~2) を押す 2 (部門 3 の税属性)	2.	
8. 税属性を設定する[部門 1~4] キーを押す 部門 3	DPT STAT.	部門 01 300 外 部門 02 0 外 部門 03 298 外

部門キーへの税率の選択

各部門の税率を選択します。工場出荷の初期設定では、部門 1 と部門 2 が税率 1 (10%)、部門 3 が税率 2 (8%) に設定されています。

* 工場出荷の初期設定内容については『初期設定について 14 ページ』をご参照ください。

税率が表のように設定されているとします。

	税率
税率1	10%
税率2	8%

* 税率の設定については『税率(消費税率)の設定 88 ページ』をご参照ください。

<例> 部門 1 を税率 2 (8%) に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	0.	
2. [# / 両替] キーを 4 回押す # / 両替 # / 両替 # / 両替 # / 両替	DPT T N.	
3. 設定する部門の税率 (1~4) を押す 2	2.	
4. 税率を選択する[部門 1~4] キーを押す 部門 1	DPT T N.	部門 01 税率 2

精算レポートカウンタの設定

精算レポートカウンタの設定方法を説明します。

＜例＞ 10 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [3]キーを5回と[1]キーを押し、[小計]キーを押す 3 3 3 3 3 1 小計		
3. 設定する精算レポートカウンタ(4桁)を押す 0 0 1 0		
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		(印字無し)

累計カウンタの設定

累計カウンタの設定方法を説明します。

＜例＞ 1 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [3]キーを5回と[2]キーを押し、[小計]キーを押す 3 3 3 3 3 2 小計		
3. 設定する累計カウンタ(4桁)を押す 0 0 0 1		
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		(印字無し)

機械番号の設定

機械番号の設定方法を説明します。

＜例＞ 123 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [4]キーを 6 回押し、[小計]キーを押す 4 4 4 4 4 4 小計		
3. 設定する機械番号 (4 桁) を押す 0 1 2 3		
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		(印字無し)



工場出荷時の初期設定は“0000”のため、レシートに印字されません。

総合計設定

総合計の設定方法を説明します。

＜例＞ 0 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [5]キーを 6 回押し、[小計]キーを押す 5 5 5 5 5 5 小計		
3. 設定する総合計 (0～9999999999 最大 10 桁) を押す 0		
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		(印字無し)



工場出荷時の初期設定は総合計を印字しないと設定されています。『システムフラグの設定 96ページ フラグ番号42参照』

訂正モードパスワードの設定

訂正モードパスワードを設ける場合の設定方法を説明します。

＜例＞ 8888 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [6]キーを6回押し、[小計]キーを押す 6 6 6 6 6 6 小計	
3. 設定する訂正モードパスワード(4桁)を押す 8 8 8 8	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

訂正パスワード
8888



- 工場出荷時の初期設定に、訂正モードパスワードは設定されていません。
- “0000” と設定すると、パスワード無しになります。

訂正モードのパスワード入力のしかた

＜例＞ 訂正モードでパスワードを入力する場合

1. スライドスイッチを【訂正】に合わせる ※ 【訂正】インジケータが点滅する	
2. 設定した「訂正モードパスワード」を押す 8 8 8 8	
3. [信計]キーを押す 信計	
4. 以降は通常のレシート訂正操作を行う	

精算レポートパスワードの設定

精算モードパスワードを設ける場合の設定方法を説明します。

＜例＞ 0456 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [7]キーを6回押し、[小計]キーを押す 7 7 7 7 7 7 小計	
3. 設定する精算モードパスワード(4桁)を押す 0 4 5 6	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

Z パスワード
0456



- 工場出荷時の初期設定に、精算モードパスワードは設定されていません。
- “0000” と設定すると、パスワード無しになります。

精算モードのパスワード入力のしかた

＜例＞ 精算モードでパスワードを入力する場合

1. スライドスイッチを【精算】に合わせる ※ 【精算】インジケータが点灯する	
2. 設定した「精算モードパスワード」を押す 0 4 5 6	
3. [信計]キーを押す 信計	
4. 以降は通常の精算操作を行う	

トレーニングモードパスワードの設定

トレーニングモードパスワードの設定方法を説明します。

使用法は『任意のトレーニングパスワードで開始/終了する 58 ページ』をご参照ください。

＜例＞ 9876 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [8]キーを6回押し、[小計]キーを押す 8 8 8 8 8 8 小計	
3. 設定するトレーニングモードパスワード (4桁)を押す 9 8 7 6	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

トレーニングパスワード 9876



- 工場出荷時の初期設定に、トレーニングモードパスワードは設定されていません。
- “0000” と設定すると、パスワード無しになります。

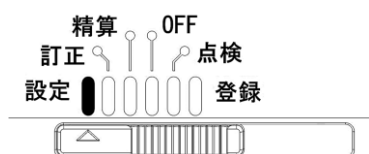
レシートのヘッダー/フッターメッセージの設定

レシートのヘッダーまたはフッター部分に印字するメッセージをそれぞれ設定できます。

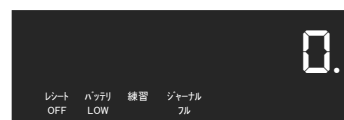
(レシートのヘッダー/フッター部分については『レシートの印字例 22 ページ』をご参照ください。)

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

電話番号の設定

レシートのヘッダーやフッター部分に電話番号(最大 15 桁)を印字させる場合の設定方法を説明します。

＜例＞ 9876-54-3210 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを 3 回押す 	
3. 設定する電話番号(最大 15 桁)を押す 	
4. [現/預]キーを押す 	

電話番号 9876-54-3210



- 9876-54-3210の「—」を入力する場合 キーを押します。
- 上記にて電話番号を設定や変更を行っても、すぐレシートに印字が反映されません。続けて、次のページに記載されている、電話番号出力の設定を行ってください。既に電話番号出力設定を行っている場合も、再度設定しなおしてください。

ヘッダー部に印字するメッセージの選択

レシートのヘッダー部に印字するメッセージを選択することができます。（最大6行）

メッセージは、＜表 A＞より選択、または、任意の文字入力『カナ／ABC入力方法について 119ページ 参照』を設定します。

＜表 A＞

メッセージ番号	メッセージ
1	(設定 1 行分クリア)
2	*****
3	//////////
4	毎度ありがとうございます
5	お買い上げ有難うございます
6	ご来店いただき有難うございます
7	ご利用いただき有難うございます
8	お大事にどうぞ
9	どうぞお大事に
10	またのご来店をお待ちしております
11	電話：(番号の設定は、81 ページ参照)
12	TEL：(番号の設定は、81 ページ参照)
13	<領収書>
14	<領収証>
15	領収書
16	領収証
17	レシートの再発行はできません
18	レシートは大切に保管ください
19	返品・交換はできません
20	返品はレシートを添えてお持ちください
21	ご予約承ります
22	お問い合わせはサービスカウンターまで
23	キャンペーン実施中！
24	セール実施中！
999	(任意：5-19) 『カナ／ABC入力方法について 119 ページ参照』



“メッセージ番号 1” は、既に設定されているメッセージを無効にするときに、使用します。

例えば、キャンペーン中は“メッセージ番号 23(キャンペーン実施中!)”を設定。キャンペーン後に、レシートに印字していた『キャンペーン実施中!』を消すため、“メッセージ番号 1”を設定しなおします。

＜例＞ 下記のように、ヘッダー部のメッセージを設定する。

1行目：*****
 2行目：お買い上げ有難うございます
 3行目：(1行空ける)
 4行目：TEL：9876-54-3210
 5行目：*****
 6行目：設定クリア

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを4回押す 値引 値引 値引 値引	
3. 前ページの＜表 A＞より印字させたい メッセージ番号を押し、印字させたい行に 対応するキーを押します 1行目のメッセージ番号は、“2” 2行目のメッセージ番号は、“5” 2 部門1 (1行目の印字) 5 部門2 (2行目の印字)	 
4. 1行空ける設定をする 任意文字入力で倍角のスペースを設定する 『カナ／ABC入力方法について 119 ページ参照』 9 9 9 部門3 3行目任意文字 領収書 0 倍角スペース	 
5. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	



ヘッダまたはフッタの印字メッセージに、“1行スペース”を設定するには、
 任意文字入力(

9

9

9

 + 【対象行】)で、
 倍角スペース(

領収書

0

)を設定します。

次ページへ続く

6. 前ページの続き、前々ページ<表 A>より
印字させたいメッセージ番号を押し、印字
させたい行に対応するキーを押します

4 行目のメッセージ番号は、“12”

5 行目のメッセージ番号は、“2”

6 行目のメッセージ番号は、“1”

1	2	部門4	(4 行目の印字)
2	小計		(5 行目の印字)
1	信計		(6 行目の印字)

```

HEAD TEXT.
HEAD TEXT.
HEAD TEXT.
    
```

ヘッダ行 01

ヘッダ行 02

お買い上げ有難うございます

ヘッダ行 03

ヘッダ行 04

TEL : 9876-54-3210

ヘッダ行 05

ヘッダ行 06



メッセージ番号の後に押す、印字させたい行に対応するキーです。

1行目 :

部門1

2行目 :

部門2

3行目 :

部門3

4行目 :

部門4

5行目 :

小計

6行目 :

信計

フッター部に印字するメッセージの選択

レシートのフッター部に印字するメッセージを選択することができます。（最大4行）

メッセージは、82ページ<表 A>より選択、または「カナ／アルファベット入力」にて任意の文字を入力します。

<例> 下記のように、フッター部のメッセージを設定する。

1行目：*****

2行目：またの御来店をお待ちしております

3行目：TEL：9876-54-3210

4行目：*****

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを5回押す 値引 値引 値引 値引 値引	
3. 82 ページの<表 A>より印字させたい メッセージ番号を押し、印字させたい行に 対応するキーを押します 1 行目のメッセージ番号は、“2” 2 行目のメッセージ番号は、“10” 3 行目のメッセージ番号は、“12” 4 行目のメッセージ番号は、“2” 2 部門 1 (1 行目の印字) 1 0 部門 2 (2 行目の印字) 1 2 部門 3 (3 行目の印字) 2 部門 4 (4 行目の印字)	   

フッタ行 01

フッタ行 02
またの御来店をお待ちしております

フッタ行 03
TEL：9876-54-3210

フッタ行 04



メッセージ番号の後に押す、印字させたい行に対応するキーです。

1行目：

部門 1

2行目：

部門 2

3行目：

部門 3

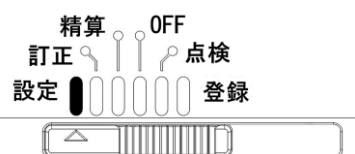
4行目：

部門 4

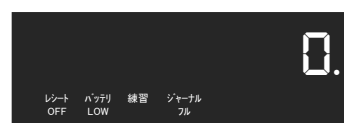
割引き/割増し・値引きの設定

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

割引き/割増し率の設定

[%]キーに、あらかじめ割引き/割増し率（0～99%）を設定することができます。

＜例＞ 割引き率を10%と設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [# / 両替]キーを 5 回押す # / 両替 # / 両替 # / 両替 # / 両替 # / 両替	
3. [%]キーを割引き、割増しのどちらで使用するか選択する ・ 割引きとして使用： 0 ・ 割増しとして使用： 1	
4. 設定する割引き率 (00～99 の 2 桁) を押す 1 0	
5. [現 / 預]キーを押す 現 / 預 (後出レシート)	 割引 10 %



[%]キーの工場出荷時初期設定は『割引き』に設定されています。

- 売り上げ途中に『割引き』『割増し』の設定変更をする場合、変更前に必ず【精算】を行ってください。
- 『割増し』に変更する場合は、3. を

1

 と選択します。

例えば、[%]キーを割増しで使用し、割増し率を設定しない場合は、



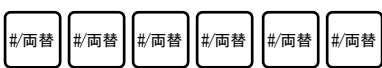
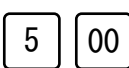
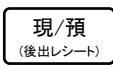
キー種 (1 桁) 率 (2 桁)

と設定します。

値引き額の設定

[値引]キーに、あらかじめ値引き額（0～999,999 円）を設定することができます。

＜例＞ 値引き額を500円と設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [#/両替]キーを 6 回押す 	
3. 設定する値引き額(0～999,999 円)を押す 	
4. [現/預]キーを押す 	

値引	500
----	-----

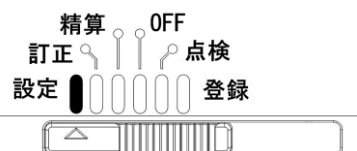
税関係の設定

4 種類の税率 (消費税率) の設定ができます。

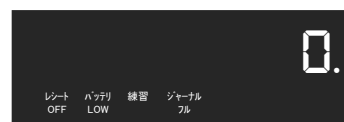
また法改正などにより生じる、新税率、および変更期日をあらかじめ設定することができます。

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

税率 (消費税率) の設定

本レジの工場出荷の初期設定の税率は、税率 1 に 10%、税率 2 に 8% が設定されています。

その他税に関する初期設定については『初期設定について 14 ページ』をご参照ください。

＜例＞ 税率 1 に税率 15% と設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引] キーを 6 回押す ※1 値引 値引 値引 値引 値引 値引	
3. 設定する税率 (0~99%) を押す 1 5	
4. [現/預] キーを押す 現/預 (後出レシート)	税率 115 %

※1：各税率を変更する場合の キーを押す回数

税率 1：6 回、税率 2：7 回、税率 3：8 回、税率 4：9 回を押したあと、税率を設定します。

税率自動変更の設定

税率 1～4 各々に変更予定税率、および変更期日をあらかじめ設定することができます。

新税率へは、設定した変更期日以降の初めての日計精算処理後に自動的に更新されます。

4月1日から新税率を適用したい場合は、変更前日(3月31日)の日計精算で税率変更するように設定します。

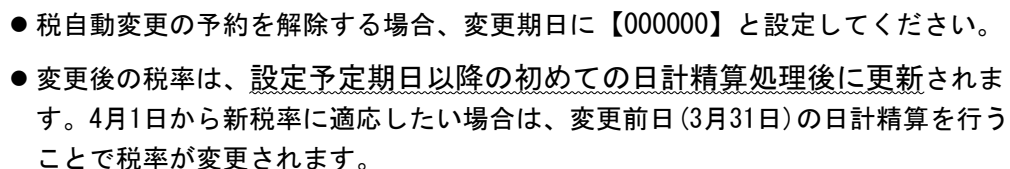
<例>

変更したい税率	新税率	税率施行日	変更期日
税率 1	15%	2030 年 4 月 1 日	2030 年 3 月 31 日
税率 2	10%	2030 年 4 月 1 日	2030 年 3 月 31 日

※ この新税率、変更期日は設定を説明するための例で、実際とは異なります。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [Ⅱ計]キーを押す ※1 	
3. 税率 1 の新税率 (0～99%) を押す 	
4. [現/預]キーを押す 	
5. [Ⅱ計]キーを押す ※1 	
6. 税率 1 の変更期日 (年 2 桁、月 2 桁、日 2 桁) を押す 西暦年 (下 2 桁) 月 (2 桁) 日 (2 桁)	
7. [現/預]キーを押す 	
8. [Ⅱ計]キーを押す ※1 	

次ページへ続く



※1：各新税率、変更期日を変更する場合の	Ⅱ計	キーを押す回数
----------------------	----	---------

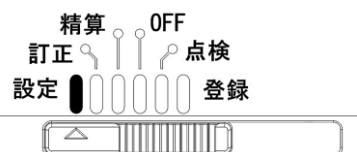
1回：税率1の新税率
2回：税率1の変更期日
3回：税率2の新税率
4回：税率2の変更期日

5回：税率3の新税率
6回：税率3の変更期日
7回：税率4の新税率
8回：税率4の変更期日

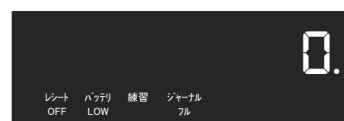
領収書の設定

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

領収書開始番号の設定

領収書開始番号の設定方法を説明します。

＜例＞ 領収書開始番号を 100 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [2]キーを 6 回押し、[小計]キーを押す 2 2 2 2 2 2 小計	
3. 設定する領収書番号(最大 6 桁)を押す 1 00	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

(印字無し)

領収書収入印紙欄金額の設定

本レジの工場出荷の初期設定では、税抜き売り上げ額が 50,000 円以上になると、決済方法に関わらず自動的に収入印紙欄が領収書上に印字されます。領収書印字例は『領収書の印字例 23 ページ』をご参照ください。

＜例＞ 領収書収入印紙欄金額を 30000 に設定する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [値引]キーを 10 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引		
3. 設定する領収書収入印紙欄金額(最大 6 桁)を押す 3 00 00		
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		収入印紙額 30000

領収書印字向きの設定

本レジの工場出荷の初期設定では、領収書の印字向きは縦向きとなっています。領収書印字例は『領収書の印字例 23 ページ』をご参照ください。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる		
2. [値引]キーを 11 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引		
3. 領収書の印字向きを設定する ・ 縦向き : 1 0 ・ 横向き : 1 1	 	縦向き システム設定 1 0 横向き システム設定 1 1
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)		

インボイス制度（適格請求書等保存方式）の設定

事業者は消費税を納税している「課税事業者」と、課税期間の基準期間における課税売上高が 1,000 万円以下で「消費税の納税義務者でなくなった旨の届出書」により納税義務がない「免税事業者」に大別されます（2023 年情報）。

ここでは「課税事業者の方」と「免税事業者の方」に分けそれぞれの設定方法について説明します。

課税事業者の場合



インボイス（適格請求書）としてレシートを発行するときは、以下の記載要件があります。

- ① 適格請求書発行事業者の氏名又は名称及び登録番号
 - ② 取引年月日
 - ③ 取引内容（軽減税率の対象品目である場合はその旨）
 - ④ 税抜価格又は税込価格を税率ごとに区別して合計した金額
 - ⑤ 税率ごとの区分した消費税額等又は適用税率
 - ⑥ 消費税等（端数処理は一請求書当たり。税率毎に1回ずつ）
- * 不特定多数の者に対して販売を行う小売業、飲食店業、タクシー業に係る取引の場合は、書類の交付を受ける事業者の氏名又は名称は省略できます。（適格簡易請求書）
 - インボイス対応については、お客様が国税庁等の行政機関ホームページや相談窓口で最新情報をご確認いただき、税理士・中小企業診断士等の専門家の方にご相談いただいて、レジスターの運用をご決定願います。
 - インボイス（適格請求書）を発行できるのは、適格請求書発行事業者に限られます。課税事業者になり、事前に税務署長の登録を受ける必要があります。

課税事業者の登録番号の設定方法とレシート印字する設定を説明します。

登録番号の設定

登録申請をして取得した課税事業者の登録番号を設定します。

＜例＞ 登録者番号 “T1234567890123” を設定する。

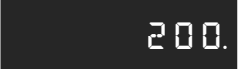
※ 先頭 “T” を抜いた数字のみ13桁を設定します。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [00]キーを 3 回押し、[小計]キーを押す 00 00 00 小計	
3. 設定する課税事業者の登録番号（先頭 “T” を抜いた数字のみ 13 桁）を押す 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

登録番号： T1234567890123

登録者番号をレシートに印字する設定

“免税事業者仕様を無効”と“課税事業者の登録番号を印字”を設定します。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを 11 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引	
3. “免税事業者仕様選択を無効”にする 2 0 0 フラグ番号 設定値	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	
5. “課税事業者の登録番号を印字”にする 2 1 1 フラグ番号 設定値	
6. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

システム設定 20 0
システム設定 21 1



工場出荷時の初期設定は課税事業者の登録番号を印字しないと設定されています。
『システムフラグの設定 96ページ フラグ番号21参照』

免税事業者の場合

免税事業者はインボイスを発行できません。

“免税事業者仕様を有効”と“課税事業者の登録番号を印字しない”を設定します。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを 11 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引	
3. “免税事業者仕様選択を有効”にする 2 0 1 フラグ番号 設定値	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	
5. “課税事業者の登録番号を印字しない”にする 2 1 0 フラグ番号 設定値	
6. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

システム設定 20 1
システム設定 21 0

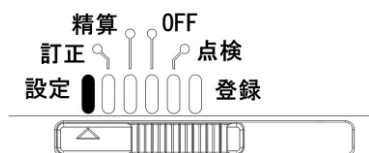


工場出荷時の初期設定は免税事業者仕様の選択は無効と設定されています。
『システムフラグの設定 96ページ フラグ番号20参照』

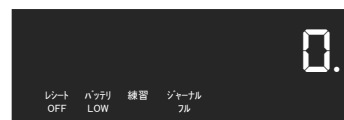
システムフラグの設定

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

システムフラグは、次ページの＜システムフラグ一覧＞より、設定するフラグ番号と設定値を入力します。

＜例＞ フラグ番号 11 の時刻タイプを「24 時間制」に変更する。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを 11 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引	
3. “フラグ番号” と “設定値” を押す 1 1 0 フラグ番号 設定値	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

システム設定 11

0

<システムフラグ一覧>

フラグ番号	設定したい項目	初期値	設定値
1	領収書の印字方向	●	0 : 縦タイプ 1 : 横タイプ
2	領収書の名称	●	0 : 領収書 1 : 領収証
3	領収書への店名ロゴ印字	●	0 : 印字しない 1 : 印字する
4	領収書への店名スタンプ印字	●	0 : 印字しない 1 : 印字する
5	レシートへの店名ロゴ印字	●	0 : 印字しない 1 : 印字する
6	レシートへの店名スタンプ印字	●	0 : 印字しない 1 : 印字する
7	レシートへの日付印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
8	レシートへの時刻印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
9	レシートへの一連番号印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
10	電子ジャーナル印字タイプ	●	0 : 通常印字 1 : 圧縮印字
11	時刻タイプ	●	0 : 24時間制 1 : 12時間制
12	消費税の小数点以下の丸め	●	0 : 切り捨て 1 : 四捨五入 2 : 切り上げ
13	取引合計の合計額の丸め ※まるめは切り捨てのみとなります。	●	0 : なし 1 : 5円 2 : 10円
14	省電力モード ※設定時間経過すると表示を自動的にオフします。 クリアキー操作で復帰します。	●	0 : 使用しない 1 : 15分 2 : 30分 3 : 60分
15	未使用		常に“0”
16	小計値引きの課税設定	●	0 : 非課税 1 : 課税
17	小計割引／割増の課税設定	●	0 : 非課税 1 : 課税
18	軽減税率番号の設定	●	0 : なし 2 : 税率2 3 : 税率3 4 : 税率4
19	顧客名記入欄のレシート印字設定	●	0 : なし 1 : 御中 2 : 様
20	免税事業者仕様選択	●	0 : 無効 1 : 有効

次ページへ続く

フラグ番号	設定したい項目	初期値	設定値
21	登録番号のレシート印字(インボイス制度)	●	0 : 印字しない 1 : 印字する
22	キー操作音 ※エラー音は消えません。	●	0 : なし 1 : あり
23	乗算順序 ※ '1' と設定した場合、[×/日時]キーでの 日付/時刻表示はできなくなります。	●	0 : 個数×金額 1 : 金額×個数
24	訂正操作の合計器へ加算するモード位置	●	0 : 登録と訂正の合算 1 : 訂正のみ
25	決済端末との接続	●	0 : なし 1 : あり
26	レポートへの店名ロゴ印字	●	0 : 印字しない 1 : 印字する
30	小計キー押下時の印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
31	レシート右端の「内、外、非」印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
32	レシートの税額明細印字	●	0 : 支払い額の後 1 : 合計額の前
33	レシートの内税額、外税額印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
34	レシートの内税対象額、外税対象額印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
35	レシートの内税抜き額、外税抜き額印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
36	レシートの税額合計印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
37	レシートの税込合計印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
38	レシートの税抜合計印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
39	両替レシートの印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
40	レポートのヘッダ印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
41	レポートの日計、累計カウンタ印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
42	レポートの総合計印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
43	レポートの各取引回数印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
44	レポートの両替回数印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
45	レポートの訂正合計印字	●	0 : 印字する 1 : 印字しない
60	0円金額の売上	●	0 : 許可 1 : 禁止

次ページへ続く

フラグ番号	設定したい項目	初期値	設定値
61	レシート再発行	●	0 : 許可 1 : 禁止
62	両替時のドロアオープン	●	0 : 許可 1 : 禁止
63	両替時の一連番号カウントアップ	●	0 : 許可 1 : 禁止
64	レポートでの一連番号カウントアップ	●	0 : 許可 1 : 禁止
65	レポートのゼロスキップ	●	0 : 許可 1 : 禁止
66	日計精算後の一連番号クリア	●	0 : 禁止 1 : 許可
67	日計精算後の総合計クリア	●	0 : 禁止 1 : 許可
68	日計精算後の日計、累計カウンタクリア	●	0 : 禁止 1 : 許可
69	古い電子ジャーナルの自動消去 ※ 1:禁止と設定した時、電子ジャーナル残量が少なく、電子ジャーナルへ記憶できないとき 「L EJ ***」もしくは「EJ FULL」と表示されます。この表示以降の登録は電子ジャーナルへ保存されません	●	0 : 許可 1 : 禁止
70	電子ジャーナルへの保存	●	0 : 取引のみ 1 : 全登録
71	電子ジャーナル残量が少なく、電子ジャーナルへ記憶できないとき、登録開始時にエラー音を鳴らす ※ フラグ番号 69=1 : 古い電子ジャーナル自動消去禁止のとき有効	●	0 : しない 1 : する
72	電子ジャーナル残量が警告を出すまで至った、最後の取引終了後のみエラー音を鳴らす ※ フラグ番号 69=1 : 古い電子ジャーナル自動消去禁止のとき有効	●	0 : しない 1 : する



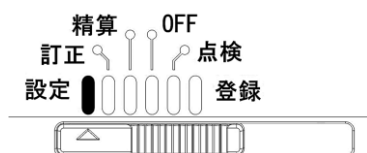
- 省電力モードは、アイドル状態で一定時間過程すると開始します。いずれかのキーを押すか、スライドスイッチでモードを変更すると解除されます。
- 「ジャーナルフル」のインジケータが点滅し“L EJ ***(*は数字)”もしくは“EJ FULL”と表示されて以降の登録など、電子ジャーナルへ保存されません。

各設定内容の確認

設定された内容をレシートへ印字し確認することができます。

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

<スライドスイッチ位置>



<インジケータ>



右端点灯



スライドスイッチを切り替えることにより、設定を印字したレシートが紙送りをします。切ってからご使用ください。

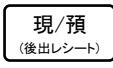
確認操作/表示の一覧

%	キー操作 回数	表示	内容
	1	DPT DUMP.	部門等設定の確認
	2	OTH DUMP.	その他設定の確認

※ 3回押すと“DPT DUMP”部門等の設定確認へ戻ります

部門等設定の確認

部門と割引き/割増し率、値引き額の設定内容を印字します。

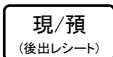
1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [%]キーを1回押す 	
3. [現/預]キーを押す 	

<部門と割引き/割増し率、値引き額の設定印字>

部門 01 キーの名称	部門 01	税率	1	部門 01 キーの税率
	アルコール		300 内	部門 01 キーの税属性
	部門 02	税率	1	部門 01 キーの単価
	部門 02		0 内	
	部門 03	税率	2	
	食料品		298 内	
	部門 04	税率	1	
	部門 04		0 非	
	割引		10 %	割引き率
	値引		500	値引き額

その他設定の確認

部門と引き/割増し率、値引き額以外の設定内容を印字します。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [%]キーを2回押す  	
3. [現/預]キーを押す 	

<その他の設定印字>

2027年07月08日 午後03時01分	日付、時刻	
電話番号 9876-54-3210	電話番号	
税率1 10 %	税率1	
税率2 8 %	税率2	
税率3 0 %	税率3	
税率4 0 %	税率4	
予約税率1 2030年04月01日	税率1 変更予約日	
予約日 税率1 15 %	税率1 変更税率	
予約税率2 2030年04月01日	税率2 変更予約日	
予約日 税率2 10 %	税率2 変更税率	
予約税率3 2000年00月00日	税率3 変更予約日	
予約日 税率3 0 %	税率3 変更税率	
予約税率4 2000年00月00日	税率4 変更予約日	
予約日 税率4 0 %	税率4 変更税率	
収入印紙額 50000	収入印紙額	

ヘッダ行		

お買い上げ有難うございます	ヘッダ	
TEL:9876-54-3210	メッセージ	

フッタ行		

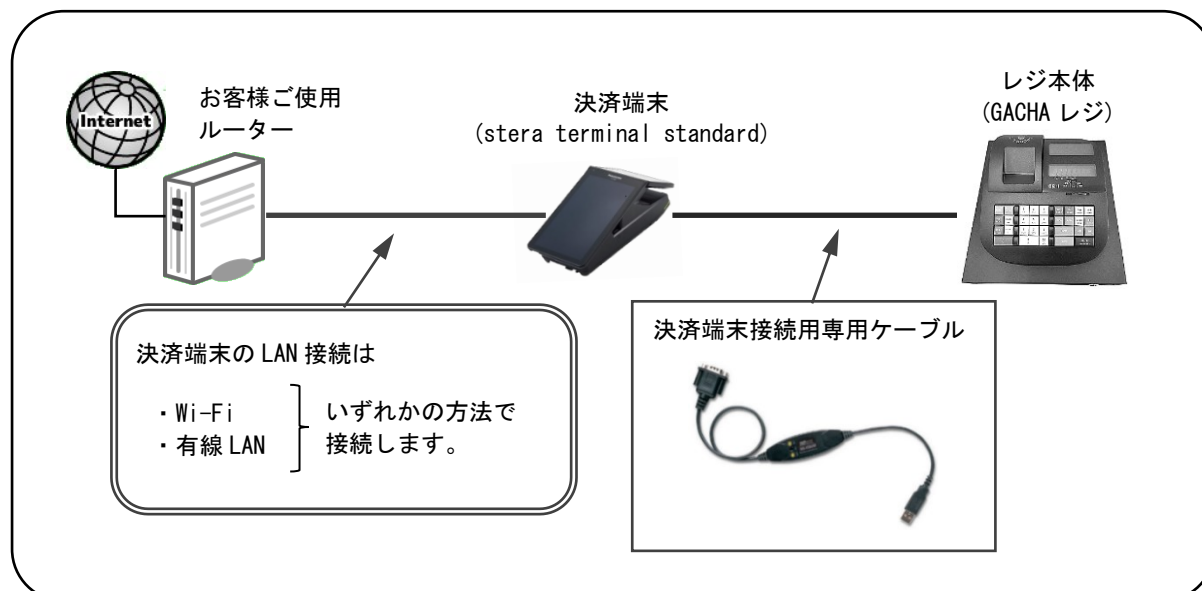
またの御来店お待ちしております	フッタ	
TEL:9876-54-3210	メッセージ	

システム設定 1 0		
システム設定 2 0		
・		
・		
システム設定 71 0	システム	
システム設定 72 0	フラグ	
登録番号 T1234567890123	登録番号	

決済端末について

本レジでは決済端末 (stera terminal standard) と接続することにより、キャッシュレス決済が可能になります。

- 本レジと決済端末 (stera terminal standard) ネットワーク接続図



決済端末 (stera terminal standard) でご準備いただくもの

● 決済端末 stera terminal standard Panasonic JT-C60 ● 決済端末接続用専用ケーブル	ご契約される決済サービス提供会社へご依頼ください。 なお、決済端末のご契約、設定、接続ケーブル等には 別途費用がかかります。あらかじめご了承ください。
● 有線 LAN ケーブル ※ 決済端末を Wi-Fi で接続する場合は 必要ありません	決済端末を有線 LAN で接続する場合、ご使用するルータ から決済端末を設置する場所までの十分な長さのものを ご準備ください。



決済端末と回線の接続方法については、『Panasonic JT-C60 シリーズ取扱説明書
＜端末設定編＞』の「ネットワーク設定」をご参照ください。

決済端末 (stera terminal standard) 側の設定

決済端末 (stera terminal standard) の設定は、下記の内容をご契約された決済サービス提供会社へご依頼ください。



本レジは、電子マネー決済時に残高不足エラーが発生した場合の現金併用に対応していません。誤操作を防ぐためにも、

『**電子マネー決済の残高不足時の [現金併用] は許可しない**』と、設定することを推奨しております。

<POS 設定>

No	項目名	設定内容	
1	POS 接続の有無	有	
2	起動種別	POS	
3	金額訂正入力有無	有	
4	毎取引通信有無	有	
5	日計データ送信有無	有	
6	取引一連 No. 有無	無	
7	処理結果通知有無	有	
8	日計表 P 印字有無	有	
9	入力タイムアウト有無	有	
10	中間計送信有無	無	
11	中間計印字有無	無	
12	単独運用確認画面有無	無	
13	単独運用禁止設定	単独運用有	
14	付加情報通知有無	無	
15	税/その他付加対象有無	有	
16	ポイント処理結果通知契機	前	
17	ポイント処理結果通知有無	有	
18	DCC パラメーター有無	無	
19	非表示会員番号有無	無	
20	処理結果通知共通化	有	
21	セルフレジ設定有無	無	

<シリアル通信設定>

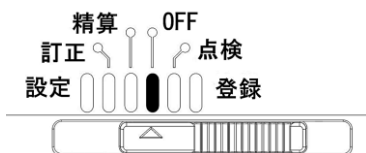
項目名	設定内容
通信速度	4,800 bps
パリティ	無
ブロックサイズ	256 byte

決済端末 (stera terminal standard) と本レジの接続

決済端末接続用専用ケーブルで、決済端末 (stera terminal standard) と本レジを接続します。

スライドスイッチが【OFF】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



消灯



作業前に必ず、本レジはスライドスイッチを【OFF】に、決済端末は **電源を OFF** にしてください。本レジ、決済端末の故障の原因となります。

＜決済端末 (stera terminal standard) 側の接続＞

決済端末の底面の USB ポートへ決済端末接続用専用ケーブルを接続します。

詳しくは『Panasonic JT-C60 シリーズ取扱説明書＜準備編＞』をご参照ください。

＜本レジ側の接続＞

1	● 本レジ：スライドスイッチ【OFF】 ● 決済端末：電源を OFF	
2	決済端末接続用専用ケーブルのケーブルコネクタ (図 1) を、本レジ右側のインターフェースコネクタ (図 2○で囲った) へ挿入します。 本レジのインターフェースの位置は、『各部名称 15 ページ』をご参照ください。	図 1 図 2
3	決済端末接続用専用ケーブルコネクタの両サイドのネジ (○で囲った) を回し、しっかり止めます。	

以上で、本レジと決済端末の接続方法は終了です。

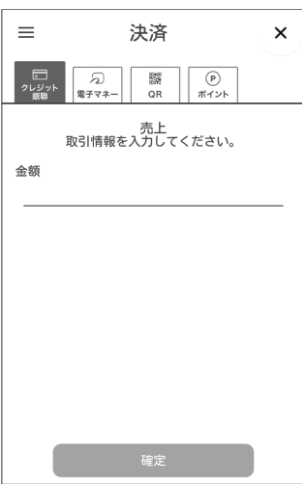
決済端末接続用システムフラグの設定

本レジのシステムフラグ フラグ 25 を“1：決済端末の接続あり”へ設定します。

1. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
2. [値引]キーを 11 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引	
3. “フラグ番号”と“設定値”を押す 2 5 1 フラグ番号 設定値	
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	 システム設定 25 1

決済端末 (stera terminal standard) と本レジとの接続確認

本レジの【トレーニング】モードを使用して、決済端末 (stera terminal standard) と本レジとの接続確認を行います。

1. 決済端末の電源を入れ、 「決済初期画面」で待機します	
----------------------------------	--

次ページへ続く

2. 本レジを、登録の「トレーニングモード」にします トレーニングモードのしかたは、『登録操作の練習(トレーニング) 56 ページ』をご参照ください	
3. 本レジで、部門を売り上げます 例) 1 2 00 部門 1 小計	
4. 本レジで、キャッシュレス操作の[信計]キーを押します 信計	
● [信計]キーを操作後、決済端末と通信を開始されます。“*WAIT”表示中は、本レジを操作しないでください。 ● 本レジの表示が“*WAIT”と切り替わらず、レシートが発行された場合、システムフラグが設定されていません。前ページの設定を行ってください。	
5. 決済端末が、「決済(練習)」画面へと切り替わります 以降、決済端末の表示に従い操作してください 決済端末の画面が切り替わらない場合 本レジと通信していません。 接続を確認し、再度 [信計]キーを操作してください。	
6. 決済端末の決済処理が完了すると、本レジの表示が切り替わり、レシートが発行されます 以上で、接続確認は終了です。	



接続確認終了後は、【トレーニング】モードの解除を忘れずに行ってください。
『登録操作の練習(トレーニング) 56 ページ参照』

SD メモリカードの使用法

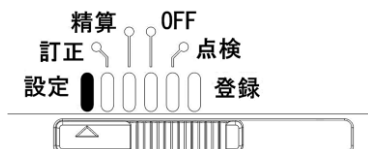
- SDHC メモリカード (SD メモリカード) メモリ容量：8GB 以下推奨
- SD カードの本レジへの入れ方は『SD メモリカードのセットのしかた 131 ページ』をご参照ください。



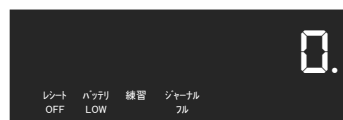
microSD メモリカードは使用しないでください。誤動作の原因となります。

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

SD カードのフォーマットのしかた

SD カードの初期化 (全データクリア) を行います。



SDカードのフォーマット (初期化) を行うと、SDカード内に入っている全てのデータがクリアされます (消えます)。SDカード内にデータが入っている場合は、フォーマット前に必ずバックアップを取ってください。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 131 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [値引]キーを 12 回押す 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引 値引	
5. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	
6. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	

次ページへ続く

7. フォーマットが始まり、フォーマット中は、1 秒ごとに“ピッ”と音が鳴ります
約 25 秒でフォーマットは終了します

SD FORM .

(印字無し)



処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。

SD カード操作/表示一覧

<SD カード読み込み一覧>

入金	キー操作 回数	表示	内容
	1	A-PRG LD.	全設定の読み込み
	2	DEPT LD.	部門設定の読み込み
	3	GR HD LD.	店名ロゴの読み込み
	4	GR FT LD.	店名スタンプの読み込み

※ 5 回押すと“A-PRG LD”全設定の読み込みへ戻ります

<SD カード保存一覧>

出金	キー操作 回数	表示	内容
	1	A-PRG SV.	全設定の保存
	2	DEPT SV.	部門設定の保存
	3	GR HD SV.	店名ロゴの保存
	4	GR FT SV.	店名スタンプの保存

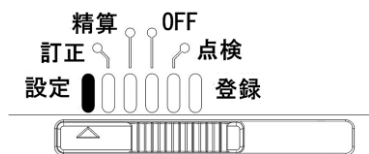
※ 5 回押すと“A-PRG SV”全設定の保存へ戻ります

各設定内容を本レジへ読み込む

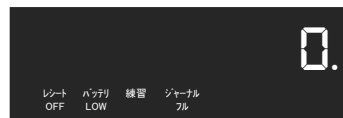
SD カードの本レジへの入れ方は『SD メモリカードのセットのしかた 131 ページ』をご参照ください。

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

＜スライドスイッチ位置＞



＜インジケータ＞



右端点灯

全設定の読み込み

SD カードに保存された部門、店名ロゴ、店名スタンプ以外の設定データを本レジへ読み込みます。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 124 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [入金]キーを1回押す 	
5. [現/預]キーを押す ※ 読み込み中、“ピーツ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーツ”と鳴ったら、読み込み完了 ※ SD カードに対象のデータが入ってない場合は“NO FILE”が表示されます。	

(印字無し)

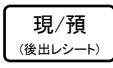


- あらかじめ、部門、店名ロゴ、店名スタンプ以外の設定データが入っている SD カードを本レジに入れてください。
- 処理中は、SD カードを絶対に抜かないでください。本レジや SD カードの故障の原因となります。
- 読み込んだデータの確認方法は『その他設定の確認 102 ページ』をご参照ください。

部門設定の読み込み

SD カードに保存された部門の設定データを本レジへ読み込みます。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 124 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [入金]キーを 2 回押す  	
5. [現/預]キーを押す  ※ 読み込み中、“ピーッ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーッ”と鳴ったら、読み込み完了 ※ SD カードに対象のデータが入ってない場合は“NO FILE”が表示されます。	

(印字無し)

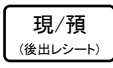


- あらかじめ、部門の設定データが入っているSDカードを本レジに入れてください。
- 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。
- 読み込んだデータの確認方法は『部門等設定の確認 101ページ』をご参照ください。

店名ロゴの読み込み

SD カード内の『PRGMODE』フォルダに保存された店名ロゴデータを本レジへ読み込みます。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 131 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [入金]キーを 3 回押す 	
5. [現/預]キーを押す  ※ 読み込み中、“ピーツ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーツ”と鳴り、読み込んだ店名ロゴがレシートに印字されたら、読み込み完了 ※ SD カードに対象のデータが入ってない場合は“NO FILE”が表示されます。	

店名ロゴを印字

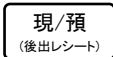


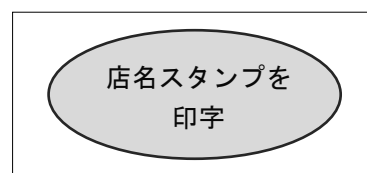
- あらかじめ、店名ロゴデータ(ファイル名: GRAPHHD. BMP)が入っているSDカードを本レジに入れてください。
 - 店名ロゴデータは『店名ロゴ、店名スタンプについて 118ページ』を参考にご用意ください。
 - 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。
 - 店名ロゴデータをレジへ読み込んだ後、システムフラグが自動設定され、領収書に店名ロゴが印字されるようになります。
必要ない場合はシステムフラグを変更してください。
 - ・領収書への店名ロゴ印字: システムフラグ3
 『システムフラグの設定 96ページ フラグ番号3』を参考にご使用ください。
- ※ レシートへの店名ロゴ印字は、工場出荷時の初期設定より
【印字する(メインフラグ5 = 1)】と設定されております。

店名スタンプの読み込み

SD カード内の『PRGMODE』フォルダに保存された店名スタンプデータを本レジへ読み込みます。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 131 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [入金]キーを 4 回押す 	
5. [現/預]キーを押す  ※ 読み込み中、“ピーッ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーッ”と鳴り、読み込んだ店名スタンプがレシートに印字されたら、読み込み完了 ※ SD カードに対象のデータが入ってない場合は“NO FILE”が表示されます。	



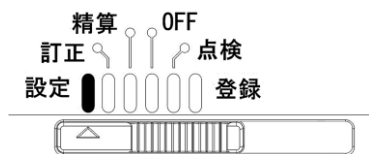
- あらかじめ、店名スタンプデータ(ファイル名: GRAPHFT. BMP)が入っているSDカードを本レジに入れてください。
- 店名スタンプデータを『店名ロゴ、店名スタンプについて 118ページ』を参考にしてください。
- 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。
- 店名スタンプデータをレジへ読み込んだ後、システムフラグが自動設定され、レシートや領収書に店名スタンプが印字されるようになります。
必要ない場合はシステムフラグを変更してください。
 - ・領収書への店名スタンプ印字: システムフラグ4
 - ・レシートへの店名スタンプ印字: システムフラグ6
 『システムフラグの設定 96ページ フラグ番号4と6』を参考にしてください。

各設定内容を SD カードへ保存する

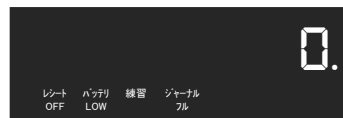
SD カードの本レジへの入れ方は『SD メモリカードのセットのしかた 131 ページ』をご参照ください。

スライドスイッチが【設定】位置にあることを確認してください。

<スライドスイッチ位置>



<インジケータ>



右端点灯



- あらかじめ、SDカードを本レジにセットしてください。
- 既にSDカードへの保存操作を行っていた場合、再度保存操作を行うと上書保存となります。
- 本レジで初めて使用するSDカードの場合、SDカードのフォーマット(初期化)が必要です。『SDカードのフォーマットのしかた 108ページ』をご参照ください。
- 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。

全設定の保存

部門、店名ロゴ、店名スタンプ以外の設定データを SD カードへ保存します。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

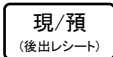
1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 124 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [出金]キーを1回押す 	
5. [現/預]キーを押す ※ 保存中、“ピーツ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーツ”と鳴ったら、保存完了	

(印字無し)

部門設定の保存

部門の設定データを SD カードへ保存します。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、**3.** より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 124 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [出金]キーを 2 回押す  	
5. [現/預]キーを押す  ※ 保存中、“ピーツ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーツ”と鳴ったら、保存完了	

(印字無し)

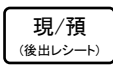


- あらかじめ、SDカードを本レジにセットしてください。
- 既にSDカードへの保存操作を行っていた場合、再度保存操作を行うと上書保存となります。
- 本レジで初めて使用するSDカードの場合、SDカードのフォーマット(初期化)が必要です。『SDカードのフォーマットのしかた 108ページ』をご参照ください。
- 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。

店名ロゴの保存

店名ロゴデータを SD カードへ保存します。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、**3.** より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 124 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [出金]キーを 3 回押す 	
5. [現/預]キーを押す  ※ 保存中、“ピーツ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーツ”と鳴ったら、保存完了	

(印字無し)

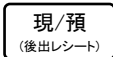


- あらかじめ、SDカードを本レジにセットしてください。
- 既にSDカードへの保存操作を行っていた場合、再度保存操作を行うと上書保存となります。
- 本レジで初めて使用するSDカードの場合、SDカードのフォーマット(初期化)が必要です。『SDカードのフォーマットのしかた 108ページ』をご参照ください。
- 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。

店名スタンプの保存

店名スタンプデータを SD カードへ保存します。

※ 既に SD カードが本レジにセットされている場合は、3. より行ってください。

1. スライドスイッチを【OFF】に合わせる	
2. SD カードを本レジに入れる (『SD メモリカードのセットのしかた 124 ページ』参照)	
3. スライドスイッチを【設定】に合わせる	
4. [出金]キーを 4 回押す    	
5. [現/預]キーを押す  ※ 保存中、“ピーツ”と鳴ります	
6. 表示が変わらず“ピーツ”と鳴ったら、保存完了	

(印字無し)



- あらかじめ、SDカードを本レジにセットしてください。
- 既にSDカードへの保存操作を行っていた場合、再度保存操作を行うと上書保存となります。
- 本レジで初めて使用するSDカードの場合、SDカードのフォーマット(初期化)が必要です。『SDカードのフォーマットのしかた 108ページ』をご参照ください。
- 処理中は、SDカードを絶対に抜かないでください。本レジやSDカードの故障の原因となります。

店名ロゴ、店名スタンプについて

店名ロゴ、店名スタンプについて説明します。

レシート、領収書の店名ロゴ、店名スタンプの印字位置については『レシートの印字例 22 ページ、領収書の印字例 23 ページ』をご参照ください。



店名ロゴ・店名スタンプは、以下の条件でお客様自身で作成いただくか、または購入した販売店に作成依頼しご用意ください。

1. 既に本レジで SD カードをご使用中の場合は、2. へ進んでください。
データが入っていない本レジで初めて使用する SD カードの場合、SD カードのフォーマット（初期化）が必要です。『SD カードのフォーマットのしかた 108 ページ』を参考に行ってください。



SDカード内にデータが入っている場合は、フォーマット前に必ずバックアップを取ってください。

2. Microsoftペイントアプリなど* の“モノクロビットマップ”で店名ロゴ、店名スタンプのデータを作成してください。

※ 店名ロゴは“GRAPHHD.BMP”、店名スタンプは“GRAPHFT.BMP”のファイル名で作成してください。

* Microsoft ペイントアプリでの作成を推奨します。Mac アプリやPhotoshop アプリなどモノクロ2階調BMPファイルで作成した場合は、そのファイルをMicrosoft ペイントアプリの“モノクロビットマップ”で保存し直してください。

	データサイズ（ピクセル）	ファイル名
店名ロゴ	横：384 × 縦：128	GRAPHHD.BMP
店名スタンプ	横：384 × 縦：72	GRAPHFT.BMP



ファイル名は、全て半角英数大文字で作成してください。

3. 1. で使用したSDカード、または本レジでご使用中のSDカードをPCへ挿入します。
2. で作成したファイルを、SDカード内にある“PRGMODE”フォルダへ保存します。
※ SDカード内に“PRGMODE”フォルダが無い場合は、1. を参考に SDカードのフォーマット（初期化）を行ってください。
4. 3. のSDカードを本レジへセットします。『SDメモ리카ードのセットのしかた 131ページ参照』。
5. 2. で作成したファイルを、本レジに読み込みます。
 - ・店名ロゴの場合：『店名ロゴの読み込み 112 ページ』をご参照ください。
 - ・店名スタンプの場合：『店名スタンプの読み込み 113ページ』をご参照ください。

カナ／ABC入力方法について

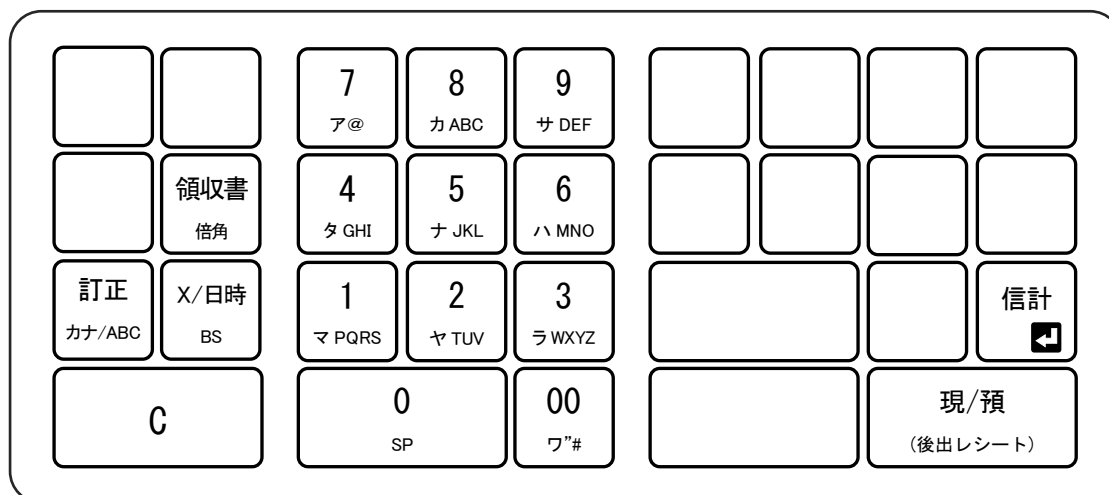
部門名やヘッダー／フッターメッセージに任意の文字を入力できます。

入力にはキーボード上の以下のキーを使用して入力します。



部門名は最大16文字、ヘッダー/フッターメッセージの1行は最大32文字です。

＜文字入力時に使用するキー＞



＜文字入力時に使用するキー機能説明＞

キー	名前	機能
00 ワ＃ 1 マ PQRS ~ 9 サ DEF	文字キー	文字を選択します。
訂正 カナ/ABC	カナ アルファベット 切り替えキー	カナ／アルファベット入力を切り換えます。 (文字選択途中の場合は、確定の後、切り換わります)。
領収書 倍角	倍角キー	文字選択の前に押下することで倍角文字となります。
0 SP	スペースキー	スペースを入力します。
信計	確定キー	選択中の文字を確定します。
X/日時 BS	バックスペース キー	1文字削除(バックスペース)します。
C	クリアキー	全文字削除します。
現/預 (後出レシート)	文字入力終了 キー	文字列入力を終了します。 (この時点で入力されている文字列が反映されます)。

・「ア @」～「ワ ”#」：文字選択を行う(以下の表を参照)

カナ入力時 ※キーを1回押下するごとに、表示部の一番左の表示が切り換わります。

表示部 左 キ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2
ア @	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ													
カ ABC	カ	キ	ク	ケ	コ																		
サ DEF	サ	シ	ス	セ	ソ																		
タ GHI	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ																	
ナ JKL	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ																		
ハ MNO	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ																		
マ PQRS	マ	ミ	ム	メ	モ																		
ヤ TUV	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ																	
ラ WXYZ	ラ	リ	ル	レ	ロ																		
ワ “#	ワ	ヲ	ン	。	「」	、	・	ゝ	°	ー													

アルファベット入力時 ※キーを1回押下するごとに、表示部の一番左の表示が切り換わります。

表示部 左 キ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2
ア @	7	@	[	¥	]	^	_	{		}	~												
カ ABC	8	A	B	C	a	b	c																
サ DEF	9	D	E	F	d	e	f																
タ GHI	4	G	H	I	g	h	i																
ナ JKL	5	J	K	L	j	k	l																
ハ MNO	6	M	N	O	m	n	o																
マ PQRS	1	P	Q	R	S	p	q	r	s														
ヤ TUV	2	T	U	V	t	u	v																
ラ WXYZ	3	W	X	Y	Z	w	x	y	z														
ワ ”#	0	!	”	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	:	<	=	>	?	

＜例＞ 部門1 キー名称を“ミルク 500ml”と設定する場合

1. スライドスイッチを【設定】に合わせます。
2. [#/両替]キーを2回押し、“DPT NAME”と表示されていることを確認します。
3. [9][9][9] 任意の文字を設定したい部門キー(例では[部門1]キー)を押します。
4. 任意の文字入力をします。

[1][1][信計] [3][3][3][信計] [8][8][8][信計] [0] [訂正]
 ミ ル ク スペース アルファベット切り替え
[5][信計] [00][信計] [00][信計] [6][6][6][6][6][信計] [5][5][5][5][5][5][5][信計]
 5 0 0 m l

5. 1 部門分の全ての文字入力が終わりましたら、[現/預]キーを押します。

本レジをリセットする

ハーフクリア、レポートクリア(売上/電子ジャーナルクリア)、システムクリア(全初期化)の操作方法を説明します。

スライドスイッチはどの位置(どのモード)でも、登録売り上げ中でも本操作を行うことが可能です。
(スライドスイッチが“OFF”位置でもクリア処理を行います。)

ハーフクリア

登録途中の操作を終了します。(設定内容、売上(レポート)は残ります)

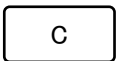


- 設定データ、レポートデータ、電子ジャーナルはクリアされません。
- 登録途中で行われた場合は、登録した部門売上が取引合計器に加算されないため、レポートの取引合計額と部門売上額との間に差異が生じます。また、複合取引中に行った場合は、取引全体の税金などは合計器に加算されますが、各取引合計と在 high は登録完了した内容のみが合計器に加算されます。

1. [C]キーと[9]キーを同時に2秒以上押し続ける	
2. [1]キーを3回押すとハーフクリアを開始する   	

レポートクリア

全売上レポート、電子ジャーナルがクリアされます。(設定内容は残ります。)

1. [C]キーと[9]キーを同時に2秒以上押し続ける  + 	
2. [3]キーを3回押すとレポートクリアを開始する   	

***** レポートクリア *****

システムクリア

設定、売上(レポート)、電子ジャーナルなど、全てクリア(初期化)され本レジ工場出荷の初期設定へ戻ります。

1. [C]キーと[9]キーを同時に2秒以上押し続ける C + 9	RESET
2. [9]キーまたは、[7]キーを3回押すと初期化(クリア)を開始する 9 9 9 または 7 7 7	※ ※ -- ※ ※ -- ※ ※
3. 現在の日付を入力する 例：2027年1月1日と設定する場合 西暦(下2桁)、月(2桁)、日(2桁)の順に押す 2 7 0 1 西暦年(下2桁) 月(2桁) 0 1 日(2桁)	27-01-01
4. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	TM ※※--※※
5. 現在の時刻を入力する 例：14時5分と設定する場合 設定する日付を時(2桁)、分(2桁)の順に押す 1 4 0 5 時(2桁) 分(2桁)	TM 14-05
6. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	OK ?
7. [現/預]キーを押す 現/預 (後出レシート)	0

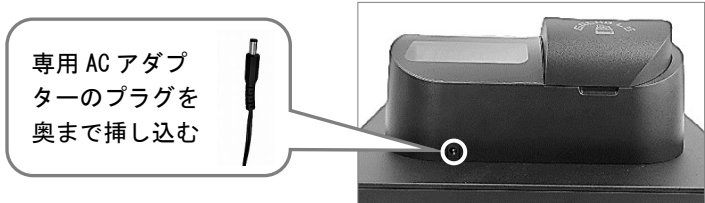
***** システムクリア *****

日付 2027年01月01日
時刻 午後02時05分

こんなときは

「故障かな？」と思ったら

お問い合わせや修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

電源が入らない (表示部に何も表示されない)	・ 本レジに電源が挿し込まれていますか？ ・ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・ 電源コンセントまで電源が来ていますか？ ・ スライドスイッチの位置は“OFF”以外ですか？ ⇒ (18 ページ)
電源は入っているが、登録操作ができない	・ 登録を行うモードで本レジは動いていますか？⇒ (18 ページ)
レシートが発行されない	・ ロール紙は、正しくセットされていますか？⇒ (127 ページ) ・ 紙詰まりを起こしていませんか？ ・ ロール紙の残量は十分ですか？ ・ レシートオフモードになっていませんか？
レシート印字がおかしい	・ ロール紙の種類やサイズは正しいものを使用していますか？ ⇒ (127 ページ) ・ ロール紙は、正しくセットされていますか？⇒ (127 ページ) ・ プリンタのヘッド部分に異物が付着していませんか？ ・ 紙押さえアームは確実にセットされていますか？
レシートに “ - - - - - !!! - - - - - ” と印字された	・ 印字中に一時的な停電（瞬停）が起きませんでしたか？ ・ 電源プラグがコンセントから外れかかっていますか？ ・ 専用 AC アダプターのプラグが、本レジから抜けかかっていますか？ 専用 AC アダプターのプラグを奥まで挿し込む 
設定内容が消えてしまった	・ 設定保持用乾電池は正しくセットされていますか？ また、消耗していませんか？⇒ (129 ページ)
ドロアが開かない	・ ドロアにカギが掛かっていますか？ ・ ドロア内部で異物が引っかかっていますか？

表示部にエラーが表示したときは

エラーが発生した場合は、下記表を参照しご対応ください。

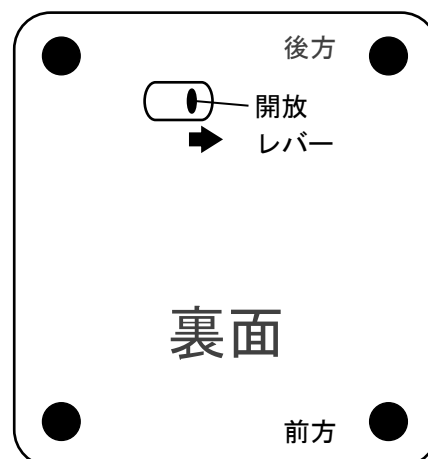
※ エラーは[C]キーにて、一旦解除することができます。

エラー表示	エラー内容	確認事項
E 1	操作エラー	[C]キーでエラー解除後、取扱説明書をご覧ください、正しく操作してください。
E 2	1 取引の最大取引 金額オーバー	1 回の取引で登録できる金額を超えています。 [C]キーでエラー解除後、一括取消操作または一旦取引を完了させてください。
E 3	0 円登録禁止	商品の金額が入力されていません。[C]キーでエラー解除後、正しい金額を入力してください。または設定をご確認ください。
E 4	1 取引の最大取引 登録数オーバー	一括取消ができる登録数(100 登録)を超えています。 [C]キーでエラー解除後、取引を完了させてから、訂正モードで同じ登録を行い訂正してください。
E 6	パスワードエラー	[C]キーでエラー解除後、正しいパスワードを入力してください。
NO PAPER	ロール紙無し	ロール紙が切れていないかご確認ください。残っている場合は再度セットし直してください。再セット後[C]キーを操作してください。
HEAD TMP	プリンタ温度異常	1～3 分経ってから[C]キーを押してください。 それでもエラーが消えない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
PWR FAIL	プリンタ電圧異常	使用を中止し、電源プラグをコンセントより抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
L E J * * *	電子ジャーナル 記憶できない	電子ジャーナルメモリ残量が少なく、電子ジャーナルを記憶できません。電子ジャーナルのメモリをクリアしてください。『電子ジャーナルレポートの発行/消去のしかた 64 ページ参照』 ※ システムフラグのフラグ番号 69 が“1”（禁止）と設定されている時に表示される。
EJ FULL	電子ジャーナル 記憶できない	電子ジャーナルメモリ残量が無く、電子ジャーナルを記憶できません。電子ジャーナルのメモリをクリアしてください。『電子ジャーナルレポートの発行/消去のしかた 64 ページ参照』 ※ システムフラグのフラグ番号 69 が“1”（禁止）と設定されている時に表示される。

エラー表示	エラー内容	確認事項
SD NON	SD カード無し	SD カードの挿入を確認し、再度操作を行ってください。
PROTECT	SD カード 書き込み禁止	SD カードのライトプロテクトスイッチを「オフ」にしてください。
NO FILE	SD カード 該当ファイル無し	SD カード内の所定のフォルダに本レジ用のデータ(ファイル)を入れてください。
SD FULL	SD カード 空き容量無し	SD カードのデータ空き容量が不足しています。
SD FATAL	SD カードエラー	上記以外の SD カードエラーです。SD カードをご確認ください。
*TIMEOUT	決済端末 タイムアウト エラー	決済端末との通信時間がオーバーしました。決済端末や決済端末との接続を確認し、[C]キーでエラー解除後、再度[信計]キーを行ってください。 ※ 取引の途中で、取引は終了していません。
*CANCEL	決済端末 支払いキャンセル	決済端末側で支払いがキャンセルされました。本レジで、再度[信計]キー操作するか、キャッシュレス決済以外の取引を行ってください。 ※ 取引の途中で、取引は終了していません。
*REJECT	決済端末 支払い拒否	決済端末側で支払いが拒否されました。キャッシュレス決済以外の取引を行ってください。 ※ 取引の途中で、取引は終了していません
*ERROR	決済端末 その他の通信 エラー	決済端末や決済端末との接続を確認し、再度操作を行ってください。それでもエラー表示する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 ※ 取引の途中で、取引は終了していません

ドロア非常時のオープン方法

故障や停電などでドロアが開かなくなった場合は、ドロアの鍵を解除状態でドロア裏面の開放レバーを右へスライドしてください。

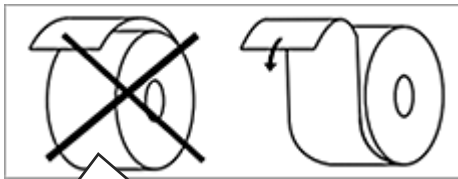


備品・消耗品のセット/交換のしかた

ロール紙のセット/交換のしかた



- 本レジは必ずロール紙をセットしご使用ください。
- ロール紙は弊社指定の純正紙（58 mm×60φの感熱紙）をご使用ください。
- ロール紙は黒いポリエチレン袋に入れ高温多湿、直射日光をさけて保管してください。

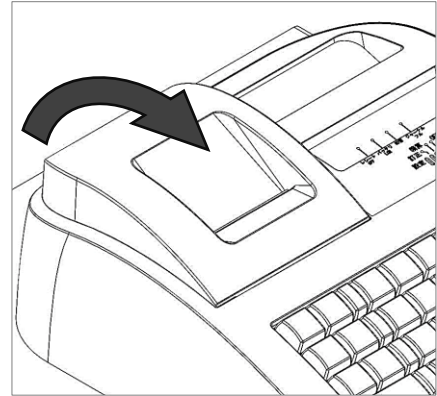


この向きでロール紙をセットすると印字されません。

※ ロール紙(感熱紙)には表面、裏面があるので正しくセットしてください。

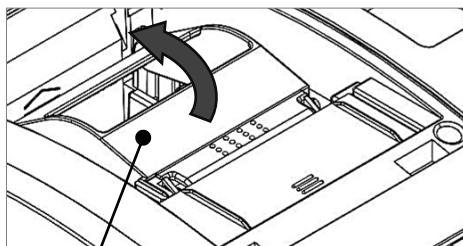
ロール紙をセットする

1. 本レジ左側、プリンタカバー後方のへこみに指をかけて持ち上げ、プリンタカバーを取り外します。

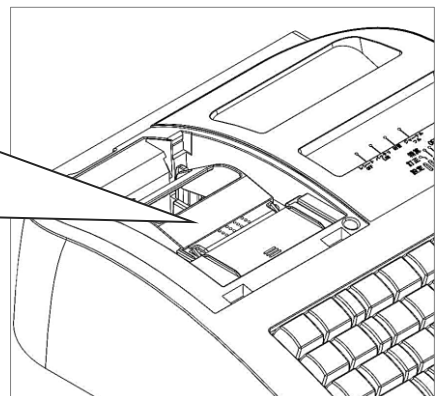


2. 紙押さえアームを持ち、上方に起こします。

<拡大>

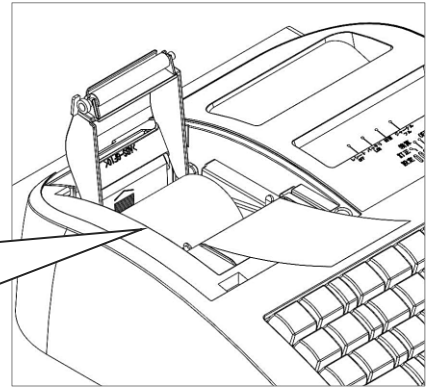


紙押さえアーム

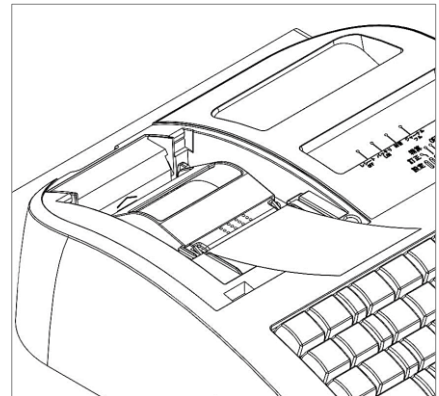


次ページへ続く

3. ロール紙を図の向きにセットします。



4. 紙押さえアームを戻します。
(カチッと音がするまでセットしてください)



5. プリンタカバーのレシート発行口にロール紙を通してからプリンタカバーを閉じ、不要なロール紙をカットして準備完了です。

※ プリンタカバーの前には物を置かない
てください。



ロール紙を交換する

ロール紙の残量が少なくなると、紙のふちに赤い線が出てきます。
この場合は、なるべく早めに新しいロール紙と交換してください。

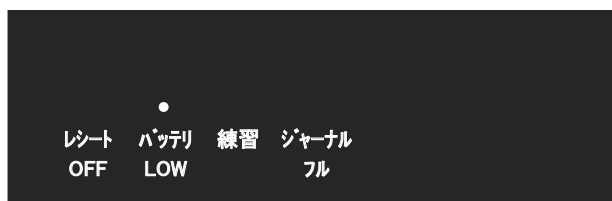
ロール紙の交換方法は、『ロール紙をセットする 127 ページ』を参考に行ってください。
但し『2. 紙押さえアームを持ち、上方に起こします。』のところで、残ったロール紙やロール紙の芯がある場合は、必ず取り除いてから新しいロール紙をセットしてください。

乾電池のセット/交換のしかた

設定データや売り上げデータ、電子ジャーナルなどのデータ保持を乾電池で行っています。乾電池をセットせず使用したり、電池交換を行わず乾電池が消耗している場合は、日付、時刻等の各種設定内容、電子ジャーナルデータ及び売上等の集計数値が消えてしまいます。
はじめてお使いになる場合は、必ず単3形マンガン、またはアルカリ乾電池2本をセットしてください。
乾電池の交換は、1年間に1回を目安に行ってください。

インジケータ【バッテリーLOW】が点滅しているときは、データ保持できない状況です。
電池交換を行ってください。

〈インジケータ〉



左から2つ目点滅



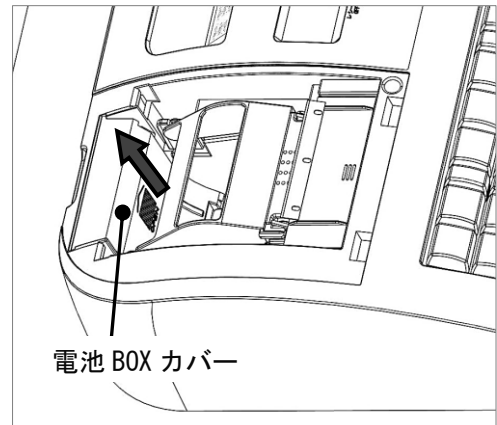
- 付属品の乾電池は動作確認用です。新しい物をご用意ください。
・ 乾電池：マンガン乾電池、またはアルカリ乾電池 単3形 2本
※ 充電式電池は使用できません。
- 新・旧の乾電池や種類の違う乾電池を混在して使用しないでください。
- 乾電池をセットせず使用したり、電池交換を行わず乾電池が消耗している場合は 日付、時刻等の各種設定内容、電子ジャーナルデータ及び売上等の集計数値が消えてしまいます。ご注意ください。
- 乾電池のセット及び交換は、電源プラグをコンセントに挿し込んだ状態で行ってください。コンセントから電源プラグを抜いた状態で電池交換が行われた場合、データが消えてしまいます。ご注意ください。
- SDカードへ設定データ保存してから、乾電池交換することをお勧めします。
『各設定内容をSDカードへ保存する 114ページ参照』

1. 本レジ左側、プリンタカバー後方のへこみに指をかけて持ち上げ、プリンタカバーを取り外します。



次ページへ続く

2. プリンタ後ろ奥にある、電池 BOX のカバーを引き上げて外します。

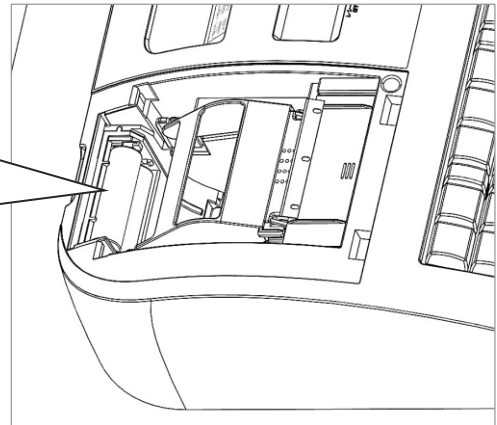


3. 乾電池(単 3×2 本)の極性の向きに注意して、確実にセット・交換します。

＜乾電池セット方向＞
(上)



極性に注意して確実に
セットしてください。



- 乾電池のセット及び交換は、電源プラグをコンセントに挿し込んだ状態で行ってください。コンセントから電源プラグを抜いた状態で電池交換が行われた場合、データが消えてしまいます。
- 乾電池をセットする方向にご注意ください。
- 交換する乾電池は2本とも、同種類の新品をお使いください。

4. 手順 1、手順 2 の逆の要領で、電池 BOX カバー、プリンタカバーを取り付けて完了です。



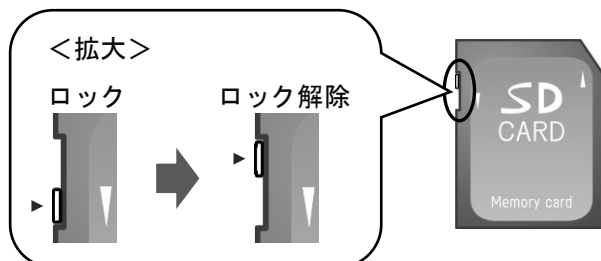
インジケータの“バッテリーLOW”が消灯したか確認してください。
消灯していない場合再度、乾電池が間違いなくセットされているか確認してください

SD メモリカードのセットのしかた

SDHC メモリカード(メモリ容量 8GB 以下推奨)をご準備ください。



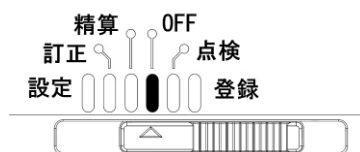
- microSD メモリカードは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- SDHCメモリカードの書き込み禁止ロックレバーが“Lock”になっていた場合、レバーを上へ動かし解除してから、本レジへ挿し込んでください。



1. スライドスイッチを【OFF】へ合わせます。

スライドスイッチが【OFF】位置にあることを確認してください。

<スライドスイッチ位置>

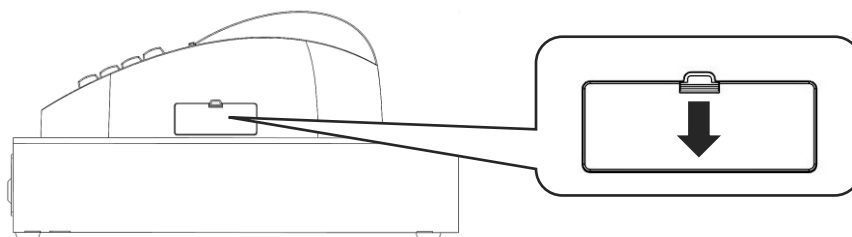


<インジケータ>



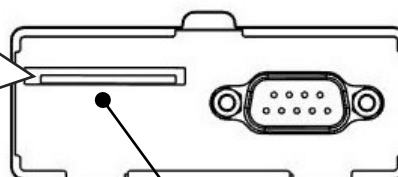
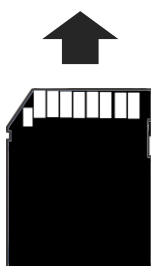
消灯

2. 本レジ右側面にある、インターフェースカバーの爪を押しながら開きます。



3. SD メモリカード裏面を上にして SD カードスロットへ「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。SD メモリカードの使用方法は『SD メモリカードの使用方法 108 ページ』をご参照ください。

SD メモリカード裏面を上にして SD カードスロットへ「カチッ」と音がするまで挿し込みます。



SD カード
スロット

仕様・スペック

型式	GR-1		
電源電圧 最大消費電力 待機時消費電力 使用温度 停電時記憶保護	AC100V±10V（50/60Hz） 36W 2W 0℃～40℃ 単 3 形乾電池 2 本使用（新品乾電池記憶保持期間約 1 年）		
表示部	前面表示部 客面表示部	16 セグメント、8 桁、LED 表示 16 セグメント、8 桁、LED 表示	
印刷部 （プリンタ）	方式 印字速度 レシート紙	ダイレクトサーマルラインドット（感熱方式） 約 12 行/秒（Max） 幅 58 mm×外径 60 mm（感熱ロール紙）	
ドロア	紙幣 硬貨	4 種類（コイントレイ下収納含む） 6 種類（硬貨部仕切り板移動可能）	
外形寸法	幅 340 mm×奥行 370 mm×高さ 200 mm（ドロアを含む）		
質量	約 5.5 kg（ドロア、AC アダプターを含む）		
インター フェース	シリアル (RS-232C)	1 つ（決済端末接続用）	
機 能	部門	4 部門	
	品番	なし	
	税	税種 税率	内税、外税、非課税 0～99%
	割引/割増率	0～99%	
	値引き	あり	
	支払い	現金、信計売り、Ⅱ 計売り	
	レポート	・ 日計レポート（点検／精算） ・ 累計レポート（点検／精算、日計レポート発行毎に加算） ・ トレーニングレポート ・ 電子ジャーナルレポート（点検／精算：最大 3000 行）	
	設定可能な 項目	日付・時刻	
		部門	課税方式、金額、名称（一覧及び任意入力）
		その他	・ 店舗スタンプ、店舗ロゴ、税額まるめ、 取引合計まるめ、省電力モード、レシート印字／非印字 ・ ヘッダー/フッターへの印字文字設定（一覧／任意入力） ・ 領収書発行方向（縦／横）
	その他	・ SD カードでの各種設定内容保存・読み込み（SDHC 規格対応） ・ 各種設定内容の印字	